



おおぞら

ぎがい

大空町議会だより 第8号
2008(平成20)年5月30日発行

5
2008



● 3月14日、女満別中学校第37回卒業証書授与式を終え、中学校生活に別れを告げた3年B組の皆さん

町長施政方針(予算執行方針)	P2
定例会の議案と質疑	P3~5
予算審査特別委員会(予算審議)...	P6~11
町政を問う(一般質問6名)	P12~21
臨時会の議案と質疑	P22~25

議会・委員会活動レポート.....	P26
模擬議会(一般質問6名)	P27~31
編集後記	P31
議会日誌	P32
有料広告(中華レストラン「吉」)	P32

● 定例会の議案と質疑 ●

●大空町として3年目となる平成20年第1回定例町議会は、3月11日から18日の8日間の会期で開かれ、以下の町提出案件・議員提出案件などが決まりました。

大空町総合計画のスタート元年となる平成20年度予算を審議!

平成20年度予算総額103億6,639万円(対前年比△7.91%)

総合計画調査特別委員会委員長報告

総合計画調査特別委員会は、第3回定例会(平成19年9月27日)で設置され、10月17日及び11月16日、「大空町総合計画」に関する策定作業中の基本構想、基本計画、実施計画及び財政推計について、部会毎に担当職員から説明を受け調査を行いました。また、第4回定例会(12月13日)にて本委員会へ正式に付託を受けた以降、1月21日及び2月15日、町長並びに関係説明員の出席を求め、熱心な議論の中、慎重に審査を行いました。

総合計画の各種施策・事業の実施にあたっては、健全な財政運営を基本とし、生活者の視点に立った重点的・効率的な事業展開を図ると共に、本町の特性を活かした特色ある取組みの立案に向け、創意工夫に努めなければなりません。また、限られた財源で、計画に示された基本目標を達成するため、計画の進捗状況を把握し町民へ公表すると共に、町民ニーズや社会情勢、財政状況の変化等に伴う計画の見直しを適宜実施するなど、町民へ負担を掛けない対応に努める必要があります。

総合計画はまちづくりの指針となるものであり、その推進にあたっては、町民の理解と協力・参加が必要です。今後とも町民が主役となったまちづくりを積極的に推進されることが望まれます。

本委員会において、議案第66号「大空町総合計画について」は、原案を可決すべきものと決定したので、審査経過及び結果の報告とします。

総合計画調査特別委員会
委員長 森 進

人事等案件

【人権擁護委員の推薦】
元氏公子さん(西2条5丁目、平成20年6月30日任期満了)の再推薦を了承(任期3年)

【人権擁護委員の推薦】
市川信行さん(平成20年6月30日任期満了)の後任委員に、鎌田宏惇さん(西倉)の推薦を了承(任期3年)

一般案件

【交通事故に対する和解及び損害賠償額の決定】
町有車両に起因して発生した交通事故に対する和解及び損害賠償の額(16万円)を決定

【財産の無償貸付】
大空町医療計画による医療供給体制の確保のため、女満別中央病院に対する次の土地及び建物の無償貸付を了承

貸付	女満別西3条5丁目15番17、ほか4筆(地積合計1,531.68㎡)及び木造モルタル垂鉛メッキ平家建、ほか居宅等建物3棟
相手方	女満別中央病院(院長 服部怜美、西4条4丁目)
期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

条例等案件

【地域振興基金条例の制定】
平成17年3月31日に失効した市町村の合併の特例に関する法律(昭和40年法律第6号)第11条の2の規定により、合併後の一体感の醸成を図るため、町民の連携強化や地域振興事業に活用する基金の積立てに関する条例の制定を了承

【学校教育施設建設基金

条例の制定

21世紀を担う子供たちを育む学校教育施設の改善等に多大な経費を要するため、今後、継続的な町内学校教育施設の改善計画等に対する財源確保のための基金の積立てに関する条例の制定を了承

質疑

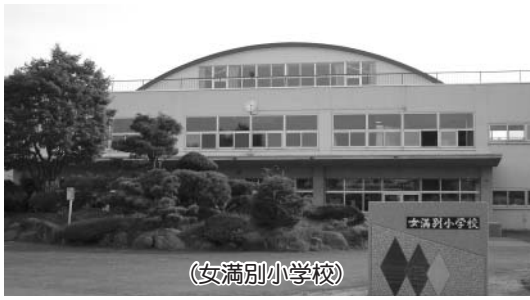
森田議員 基金の積立て期間、目標額についてどのように考えているのか伺う。

生涯学習課長 町内の学校施設については、建築後35年から42年経過しており、今後建替え時期を迎えてくる状況にある。継続的な積立てを行い、重点的課題として今後の学校施設整備に対応していくこととしたい。当面の目標額については、女満別小学校改築事業に関

わる一般財源の概算見込額としている1億4,000万円を準備すべく計画を進めたいと考えている。

森田議員 女満別小学校改築事業ということではなく、将来の施設整備のための準備金となる基金についてはもう少し計画性を持って進めてほしい。

教育長 女満別小学校のみならず耐用年数が近づいている施設もあるので、ご指摘を踏まえ、将来の施設整備に備えていくことしたのでご理解願いたい。



(女満別小学校)

【乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正】

老人保健法から高齢者の医療の確保に関する法律へ根拠法令が移行することに伴う同条例の一部改正を了承



【職員の育児休業等に関する条例の一部改正】

地方公務員の育児休業等に関する法律（平成30年法律第110号）の一部改正により、育児を行う職員は小学校に就学するまでの間、仕事と育児の両立が可能となるよう育児に係る短時間勤務の取得が制度化されたことに伴う同条例の一部改正を了承

【重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正】

平成20年4月1日からスタートする後期高齢者医療制度（長寿医療制度）

により、老人保健法から高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）へ根拠法令が移行することに伴う同条例の一部改正を了承

【広域保育の実施に関する条例の一部改正】

国に準拠して定めている本町の広域保育徴収基準額について、所得税の定率減税の縮減により国の保育所徴収基準額が改正されたことに伴う同条例の一部改正を了承

【東藻琴老人福祉センター条例の一部改正】

類似施設である女満別農業構造改善センターと同様の減免措置への拡充を図ることに伴う同条例の一部改正を了承



(東藻琴老人福祉センター)

【東藻琴国民健康保険診療所条例の一部改正】

老人保健法から高齢者の医療の確保に関する法律へ根拠法令が移行することに伴う同条例の一部改正を了承

【介護保険条例の一部改正】

国の税制改正により、公的年金等の控除額の縮小や高齢者非課税限度額の廃止など、保険料の上昇に対する激変緩和措置（平成18・19年度）を平成20年度も継続することに伴う同条例の一部改正を了承

【女満別地区・東藻琴地区農業委員会委員の定数及び選挙区設定に関する条例の一部改正】

斜網地区農業共済組合が平成20年4月1日にオホーツク農業共済組合として合併することに伴う同条例の一部改正を了承

【農業委員会に関する条例の一部改正】

斜網地区農業共済組合が平成20年4月1日にオホーツク農業共済組合として合併することに伴う同条例の一部改正を了承

予算案件

【平成19年度一般会計補正予算（第10号）】

歳入歳出予算にそれぞれ18億6,701万円追加し、総額が94億4,908万円となりました。

▼歳入の主なものとして、

町民税1,402万円
固定資産税
1,089万円

地方交付税
7,743万円

障害者介護給付費等負担金など
△1,048万円

東藻琴東地区戦略的畑地農業振興整備事業補助金△1,097万円

3・3・2空港改築用地取得委託金
△7,904万円

財政調整基金等繰入金
9億1,914万円

地域振興基金造成事業債9億5,960万円

▼歳入の主なものとして、
地域振興基金積立金
10億1,013万円

障害者自立支援事業
△1,994万円

簡易水道事業特別会計繰出金

△1,994万円

簡易水道事業特別会計繰出金

△1,109万円
土地改良事業負担金
10億7,125万円

東藻琴東地区戦略的畑地農業振興整備事業
△1,106万円

3・3・2空港改築用地取得事業
△7,714万円

学校教育施設建設基金積立金2,194万円

職員給与費
△2,170万円

質疑

◆東藻琴東地区戦略的畑地農業振興整備事業（△1,106万円）

小島議員 どのような理由等で減額となったのか伺う。

産業振興課長 当初予定していた事業計画・内容について、区画整理

が13ha↓9ha、密土2ha↓未実施、心土破砕

99ha↓59ha、土壌改良

96ha↓85haにそれぞれ面積の減少に伴い最終的に減額となったものであるのでご理解願

いたい。

小島議員 事業面積の

変

更に伴った結果ということだが、当初計画の見直しはこうなっているのか伺う。

農政課長 J A が事業主体となって実施している団体営事業となっており、最近の品目横断的経営安定対策など関係から、農家の方々の希望を取りまとめた上で当初予算の要求をした、実際の農家負担が50%と大きいこともあって最終的に事業の実施を辞退されたことに伴う事業面積の変更であるのでご理解願いたい。



【平成19年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）】

歳入歳出予算にそれぞれ778万円を追加し、

総額が12億4,739万円となりました。

▼歳入の主なものとして、現年度療養給付費等負担金・交付金 △3,513万円

財政調整交付金 4,870万円

共同事業交付金 △4,344万円

国民健康保険基金繰入金 1,909万円

▼歳入の主なものとして、後期高齢者医療制度保険者システム構築業務委託料 129万円

一般被保険者療養給付費 1,200万円

保険財政共同安定化事業拠出金 △252万円

疾病予防事業 143万円

【平成19年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第2号）】

歳入歳出予算をそれぞれ174万円減額し、総額が1億7,101万円となりました。

▼歳入の主なものとして、老人保健診療収入現年度分 △872万円

一般会計繰入金 538万円

▼歳出の主なものとして、診療施設一般管理事業 △152万円

【平成19年度老人保健特別会計補正予算（第2号）】

歳入歳出予算をそれぞれ4,295万円減額し、総額が12億3,070万円となりました。

▼歳入の主なものとして、現年度医療費交付金・負担金 △4,464万円

医療給付費・支給費 △4,238万円

【平成19年度大空町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）】

歳入歳出予算をそれぞれ2,652万円減額し、総額が4億2,904万円となりました。

▼歳入の主なものとして、一般会計繰入金 △1,109万円

各地区簡易水道事業債 △1,520万円

▼歳出の主なものとして、簡易水道施設管理費 △919万円

各地区簡易水道整備事業 △1,649万円

【平成19年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）】

歳入歳出予算をそれぞれ1,521万円となりました。

▼歳入の主なものとして、介護給付費・支給費 △4,238万円

介護給付費・介護保険基金繰入金 △560万円

▼歳出の主なものとして、居室介護サービス給付費 △866万円

施設介護サービス給付費 △1,637万円

居室介護サービス計画給付費 △198万円

介護予防サービス給付費 181万円

【平成19年度介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第2号）】

歳入歳出予算をそれぞれ46万円減額し、総額が1,521万円となりました。

▼歳入の主なものとして、一般会計繰入金 △1,109万円

各地区簡易水道事業債 △1,520万円

▼歳出の主なものとして、簡易水道施設管理費 △919万円

【平成19年度個別排水処理事業特別会計補正予算（第1号）】

歳入歳出予算をそれぞれ104万円減額し、総額が2億5,163万円となりました。

▼歳入の主なものとして、一般会計繰入金 △1,109万円

各地区簡易水道事業債 △1,520万円

▼歳出の主なものとして、簡易水道施設管理費 △919万円

各地区簡易水道整備事業 △1,649万円

【平成19年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）】

歳入歳出予算をそれぞれ1,521万円となりました。

▼歳入の主なものとして、介護給付費・支給費 △4,238万円

介護給付費・介護保険基金繰入金 △560万円

▼歳出の主なものとして、居室介護サービス給付費 △866万円

施設介護サービス給付費 △1,637万円

居室介護サービス計画給付費 △198万円

介護予防サービス給付費 181万円

【平成19年度介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第2号）】

歳入歳出予算をそれぞれ46万円減額し、総額が1,521万円となりました。

▼歳入の主なものとして、一般会計繰入金 △1,109万円

各地区簡易水道事業債 △1,520万円

▼歳出の主なものとして、簡易水道施設管理費 △919万円



平成20年度予算案件

件名	審査の結果
大空町一般会計予算	原案可決
大空町国民健康保険事業勘定特別会計予算	原案可決
大空町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算	原案可決
大空町老人保健特別会計予算	原案可決
大空町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
大空町介護保険事業勘定特別会計予算	原案可決
大空町介護サービス事業勘定特別会計予算	原案可決
大空町簡易水道事業特別会計予算	原案可決
大空町下水道事業特別会計予算	原案可決
大空町個別排水処理事業特別会計予算	原案可決

予算審査特別委員会(予算審議)

●予算審査特別委員会(委員長:厚海副議長他委員16名)に付託された『平成20年度一般会計及び9特別会計』の予算審査の概要等は次のとおりです。
※質疑の詳細は、議会ホームページまたは両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

生活環境関係

- ◆ごみ処理事業
1 億997万円
廃棄物焼却処理施設及び最終処分場関連経費
- ◆リサイクル推進事業
2, 697万円
リサイクルセンターでの再資源化処理関連経費
- ◆合併処理浄化槽設置整備事業
1, 465万円
合併処理浄化槽の設置費用の一部助成
- ◆女満別本町・高台地区水道管路整備事業
- ◆除雪機械整備事業
3, 577万円
- ◆道路整備事業
9, 243万円
①千草西倉56号線舗装
855m
②栄町5条線改良舗装
220m
③栄町6丁目西線改良舗装
160m
- ◆汚水管渠布設事業
1, 680万円
新規公共棟の設置と老朽管の更新など
- ◆老朽化した除雪機械の更新
1 億7, 324万円
水道未普及地域の解消と老朽管の更新など



- ◆あさひ団地建設事業
5, 824万円
あさひ団地の解体・新築工事関連
- ◆運動公園遊水池補修事業
450万円
- ◆麦類乾燥調製貯蔵施設整備事業
1 億6, 320万円
麦類乾燥調製貯蔵施設整備への支援(事業主体: J A オ ホ ー ツ ク 網 走)
- ◆藻琴山温泉芝桜公園整備事業
860万円
藻琴山温泉芝桜公園内の施設整備関連
- ◆観光誘導看板設置事業
686万円
町内観光施設への誘導看板の設置整備関連
- ◆女満別本郷地区地域水田農業再編緊急整備事業
1, 469万円
本郷地区の農業基盤整備関連
- ◆女満別豊住地区経営体育成基盤整備事業
4, 014万円
豊住地区の農業基盤整備関連
- ◆東藻琴山麓地区担い手草地整備事業
1, 500万円
東藻琴山麓地区の草地整備調査関連
- ◆東藻琴西部地区担い手畑総整備事業
6, 766万円

大空町として3年目の予算編成となる平成20年度は、大空町行政改革大綱・推進計画などの取組みによって、前年度より財政改善の兆しが見受けられますが、国の経済財政改革の基本方針2007や地方財政計画などによる国庫補助金、地方交付税等の改革の推進は、本町歳入の約53%(37億8千万円)を占める地方交付税に大きな影響を与え、今後引き続き厳しい財政状況が見込まれています。

平成20年度からスタートする大空町総合計画は、女満別・東藻琴両地域の交流と融合、地域課題等に対応するため、合併の優遇制度を活かした各種施策・事業が位置づけられています。今後、住民サービスの向上に資する総合計画を着実に推進しつつ、行政の健全経営に向けた一層の取組みが求められています。
※主な事業(抜粋)を紹介します。平成20年度予算の詳細等は、広報おあそ5月号に同封された冊子「ことしの町の予算」をご覧ください。

地方自治体財政健全化法を踏まえた 行財政改革の推進による健全経営を目指して!

予算総額約103億6千6百万円(対前年度比△7.9%)を探る

東藻琴西部地区の農業
基盤整備関連

◆東藻琴東地区戦略的畑
地農業振興整備事業
1, 754万円

◆東藻琴東地区の農業基
盤整備関連(事業主体…
JAオホーツク網走)

◆農地・水・環境保全向
上対策事業912万円

◆農業の基盤となる農
地・水・環境の保全と質
的向上などに対する支援

◆21世紀北の森づくり推
進事業2, 374万円

◆森林整備促進に係る造
林等経費の一部補助など



◆公有林管理育成事業
2, 531万円

◆公有林の整備促進に係
る造林、野ねずみ駆除等

◆中山間地域等直接支払
事業 1, 998万円

◆農業関係資金対策事業
1, 359万円

◆企業誘致対策事業
1, 485万円

◆中小企業振興資金利子
補給事業 650万円

◆商工会助成事業
2, 359万円

◆メルヘンフェア・芝桜
まつり・ふるさとまつ
り開催事業670万円

教育関係

◆女満別小学校改築事業
6, 356万円

◆女満別小学校の改築整
備のための調査設計

◆小・中学校教育振興事
業 1, 385万円

◆新学習指導要領に基づ
いた個性を伸ばす教育活
動の実践など

◆学校教育用コンピュー
タ更新事業
1, 531万円

◆女満別・東藻琴両中学
校の教育用コンピュータ
の更新

◆スクールバス運行事業
7, 650万円

◆遠距離通学の児童・生
徒の登下校並びに、女満
別・東藻琴両地区を結び
連絡バスとして運行

◆語学指導助手招致事業
493万円

◆外国語指導助手の配
置・派遣など

◆東藻琴・女満別両高等
学校教育振興事業
711万円

◆東藻琴高校の教育振興
会及び女満別高校の振興
協議会への助成

◆高校通学対策助成事業
420万円

◆町外高校への通学交通
費・下宿費の一部助成など

◆子育て支援ネットワー
ク充実事業300万円

◆子育てやいじめ問題等
に関する相談員の配置・
充実

◆公民館整備事業
880万円

◆スポーツ活動振興事業
435万円



保健・医療・福祉関係

◆社会福祉協議会助成事
業 2, 595万円

◆社会福祉協議会の管理
運営経費の助成

◆障がい者福祉施設整備
事業 104万円

◆旧東藻琴国保診療所を
障がい者福祉施設へ改修
整備のための基本設計

◆介護保険利用者負担減
免措置事業655万円

◆介護保険サービスの利
用者負担額の一部減免

◆障がい者自立支援事業
1億1, 915万円

◆障がい者の介護・訓練
等のサービス利用に対す
る支援など

◆重度心身障がい者医療
費助成事業
2, 620万円

◆重度心身障がい者の方
への医療費自己負担分の
一部助成

◆乳幼児医療費助成事業
1, 954万円

◆就学前乳幼児への医療
費自己負担分の一部助成

◆児童手当扶助事業
5, 723万円

◆健康増進事業
1, 579万円

◆健康増進事業

平成20年度 各会計予算額及び委員会の採決状況

会 計 名	予 算 額	前年度予算額	前年度対比	採決状況
一 般 会 計	72億984万円	73億5,815万円	▲2.02%	賛成全員
国民健康保険事業 勘定特別会計	11億4,077万円	11億7,847万円	▲3.20%	賛成全員
国民健康保険直営診療 施設勘定特別会計	1億6,682万円	1億7,273万円	▲3.42%	賛成全員
老人保健特別会計	1億2,195万円	12億1,584万円	▲89.97%	賛成全員
後期高齢者医療計 特別会計	9,617万円	-	皆増	賛成全員
介護保険事業勘定 特別会計	5億5,923万円	4億8,814万円	14.56%	賛成全員
介護サービス事業勘定 特別会計	1,546万円	1,565万円	▲1.21%	賛成全員
簡易水道事業特別会計	6億6,380万円	4億5,407万円	46.19%	賛成全員
下水道事業特別会計	3億6,604万円	3億4,710万円	0.42%	賛成全員
個別排水処理事業 特別会計	2,631万円	2,620万円	5.46%	賛成全員
合 計	103億6,639万円	112億5,635万円	▲7.91%	

健康で豊かな生活実現
のための健康相談、基本
健康診査、各種がん検診、
家庭訪問指導など

◆女満別中央病院施設運
営費補助事業
5, 000万円

基幹病院である女満別
中央病院の施設運営経費
の一部補助



(女満別中央病院)

一般会計

歳入

町有地売却代

齋藤委員 財政健全化計画に位置づけられている未利用地について、今後の売却予定面積はどのように計画しているのか。

財政課長 財政健全化計画では、20年度に空港隣接地2,860㎡の売却を予定している。その他に女満別中学校前の土地の売却を予定している。



(空港隣接町有地)

権限移譲事務交付金

森田委員 北海道から権限移譲を受けている1

95項目について、町民に広く周知しておく必要があると考えるかどうか。

企画課長 権限移譲を受けることによって町民の皆さんのサービス向上に深く関わる内容等については、ご指摘を踏まえPRの検討を進めたい。

道路特定財源関係

坂本委員 道路特定財源の暫定部分が廃止となった場合、本町における影響額等はどうか。

財政課長 本町における影響額としては、地方道路譲与税で約1,100万円、自動車重量贈与税で約1億600万円、自動車取得税交付金で約3,100万円の合計1億4,700万円と考えられる。

一般会計

歳出

ふれあい訪問委託料

植田委員 決算審査の際に提言したが、20年度

予算に女満別地区が計上されていない。どのように検討したのか。

福祉課長 20年度は東藻琴地区のみで考えているが、今後、女満別地区も同様に導入していかなければならない課題と考えている。

植田委員 不安で大変な思いをしながら一人で生活していることを考えると、なるべく早く実現してほしいと考えている。東藻琴地区での訪問実績、女満別地区ではどのくらい訪問を予定しなければならぬのか。

福祉課長 東藻琴地区では、週2回、独居高齢者へ訪問をしており、延べ利用者166名、利用回数507回となっている。女満別地区では、施設への入所や入院されている方などを除くと200余名である。地域包括支援センターの動きなどを見極めながら検討していきたいと考えている。

特別支援教育関係

松田委員 特別支援教育の対象児童・生徒数については、女満別小学校8名、中学校6名、東藻琴小学校2名で、知的・情緒・肢体不自由と伺っている。LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)についてはどのようになっているのか。

教育長 保護者の方が特別支援学級に入って指導を受けたいとの了解の基に対応している。行政が強制的に行うことではないのでご理解願いたい。

障害者福祉職モデル事業

松田委員 可能な限り地域に職を求めるといって点で大変良い事業であると考えているが、対応事業者数が少ないなどの課題への対応等について、今後どのように考えているのか。

福祉課長 現在、受入れ事業所が限られているが、できるだけ長期間働いていただけるよう

な仕組みづくりなど、地域自立支援協議会と協議・検討をさせていただきながら取組んでいきたいと考えている。

各学校教材費

坂本委員 女満別中学校、東藻琴小学校、中学校の教材費が年々減額となっている経過等について伺う。

生涯学習課長 各学校から提出される要望を踏まえ、前年度の予算執行状況等も勘案しながら予算づけしている。予算の範囲内で十分対応できているものと認識しているが、児童・生徒の教育活動に支障がないよう対応していきたいと考えている。

ひがしもと乳酪館関連

森田委員 乳酪館の利用状況や収支状況はどのようなになっているのか。産業振興課長 19年4月から20年2月までの利用状況は、ほぼ前年度同様の入館者数が見込まれ、体験学習コーナーは対前年度比36%増

となっている。収支状況についても指定管理者のご努力によって、対前年度比7.51%増となっている。

森田委員 建物の立地状況から、見過ごしてしまいがちな位置に施設が存在しており、アクセス看板等の設置に取組むべきではないのか。

濱名副町長 最近、乳酪館の存在も広く理解されてきているが、案内看板等の充実を図り観光客誘致に努めたい。



(ひがしもと乳酪館)

農畜産物販路拡大調査事業

勝田委員 具体的には、農産物のどのような販路拡大へ助成されることとなるのか。農政課長 稲城市におい

ても商店街活性化事業が実施され、昨年、本町の農畜産物やお菓子などの特産品を持って弁天通り商店街のイベントでPR活動を行った。20年度は稲城市、周辺の企業等にも声かけしながら本町の農産物等の販路拡大に取組む予定である。



企業誘致協力会負担金

勝田委員 東京・札幌のふるさと会は、企業誘致協力会としての仕事を担ってもらっているが、ふるさと会として別に予算化をした方がよいのではないかと考えるがどうか。

企画課長 それぞれの地

区会員の中には、色々な会社の重要な地位にいる方もおられるということで、企業誘致協力会として規約を持って実施している。最近では、町の企業情報や関係企業の方々にも会に出席いただいているが、ご指摘を踏まえ、今後の検討課題としたい。

誘致企業振興事業

小島委員 ゴルフ場支援策について、はまなす会への商品券など地域経済に寄与できる形で実施したいということだが、相手企業とどのような整理をされているのか。

企画課長 ゴルフ場が実施される事業・イベントに商品券を活用していただくよう協議を進めている。ゴルフ場利用税の収入の他、地元食材・商品の活用、燃料の購入、臨時職員の雇用など厳しいゴルフ場経営の中で色々とご努力いただいているのでご理解願いたい。

町 長 企業誘致を支

援し推進してきた行政の立場としては、誘致企業が当初目的を達成できるよう、地域経済に大いに貢献いただけるよう、企業の経済活動へどのような形・仕組みで支援を進めれば良いのか常に努力しなればならないと考えており、そのための支援であるべきと強く認識している。知恵や工夫を凝らしながら、最大限の努力をしたいと考えているのでご理解願いたい。



(女満別ゴルフコースクラブハウス)

ソーラン祭実行委員会補助金

小島委員 団体育成の観点から団体補助金とすべきではないかと考えているが、20年度も実

行委員会補助として対応するのが。



教育長 異年齢の子供たち、世代を超えた子供たちの教育的な交流の側面、旧女満別町時代からまちのPRの一翼を努めていただいていること、本町の文化的な醸成に貢献いただいていることなどから、実行委員会に対する助成を行ってきた。合併後3年間を目途に様々な補助金等について町全体で見直しをする調整事項にこの補助金も対象となることから、21年度に向けて関係者と協議を進めるのでご理解願いたい。

女満別小学校改築事業

小島委員 先日の新聞報道を見ると、4・5月にPTA役員らと連携して校舎建設基本構想をまとめ、6・7月に地盤ボーリング調査、年内に実施設計を完成させ、21年度着工・22年度完成、総工事費約20億円、木材をできるだけ使用したいなど、厚生文教常任委員会への報告より詳細に発表されていた。調査設計予算の可決前に報道された判断はごつてあったのが。

女満別学校給食センター関係

小島委員 過日、給食センター内部を見学したが、厨房、配管、電気系統その他施設の老朽化が著しく、現場の担当職員によると、業務中に機械等に何らかのトラブルが起きた場合、その都度修理対応するため時間内に給食を配達することが困難になるなどの苦勞をされているようである。また、給食センター前の道路は舗装されていないため、雪解けシーズンなどには泥沼状態となり、食品納入にも影響が出ている状況等となっている。これらの改善に向けてどのように考えているのか。

生涯学習課長 20年度予算概要の報道発表後、詳細に関する取材申込みがあり、あくまでも議会提案の上、審議・議決いただければこのようなスケジュール・素案で取り進めたい旨担当課として取材対応したものであるのでご理解願いたい。

町 長 私どもが意図するところを十分に報道機関にお伝えできるよう職員への指導対応したい。



教育長 この給食センターは昭和58年建設で老朽化が進んでいることから、施設設備を定期的に検査して、業務に支障のないよう計画的な更新の検討を進めたい。また、雪解け時の道路のぬかるみについては、ご指摘のとおりため、今後、簡易舗装等を含めて何らかの対応の検討を進めたい。

後期高齢者医療 特別会計

歳入歳出

坂本委員 20年度からスタートする新しい制度であり、該当者も高齢の方々ということで認識不足が予想されるが、制度の周知等についてはどうか。

福祉課長 広報等を通じて数回に亘るPRの他、各老人クラブ等に出向き、説明の機会などを通じてPRさせていたが、制度の内容等についてなお一層の周知に努めたい。



簡易水道事業 特別会計

歳入歳出

勝田委員 女満別地域の老朽化した水道管の整備についてどのような考え方なのか。

建設課長 20年度については、本町地区は、安全な水の確保と安定供給のため5・6kmの更新、高台地区は、水道未普及の解消のため5・6kmの布設をそれぞれ予定している。今後の整備計画については、本町地区は平成11年度から24年度まで、高台地区は平成12年度から25年度までの予定としているのでご理解

願いたい。
勝田委員 東藻琴・女満別両地区の水道料金の統一化についてどのように対応するのか。

建設課長 現在、基本料金、超過料金が異なっている。合併調整では下水道料金について合併後5年を目途に総体的に見直すと考えられているが、水道料金については、女満別地区の料金体系の統一が先決となっており、その後、下水道料金と同様に取組まなければならないと考えている。

坂本委員 高台地区未普及地域については、当初、平成22年度までの予定であったが、25年度に計画を延長したことは住民周知なされているのか。
建設課長 財政事情等によって25年度までと計画期間を延長したものである。年度当初、対象者には説明等を行っているが、ふれあいトークなどを通じて十分な事前説明・PRに努めたい。

総括



女満別高校教育振興

近藤委員 学区内に限らず共通して生徒数の減少傾向が見られ、20年度は現在の2間口が維持できるかどうか正念場を迎える年になるのではないかと。1間口となった場合は、様々な分野に影響が出てくる。高校側も様々な形で特色ある事業や取組みをされているが、行政として振興補助金以外にも取組む必要性があるのではないのか。

教育長 19年度の町内の卒業生85名に対し、20年度は69名で16名減となる実態である。特に女満別中学校は現在

の中学2年生が44名ということ、女満別高校が80名2学級を維持できるかどうかは、町内の中学卒業生は基より、網走東学区全体の動向との関わりが深く、現在推移等を見守っていると状況である。教育振興補助金は、予備校のサテライトを開設して、高校の教室で学習できるなど教育活動の本質的部分に力がつくような充実に活用をされている。北海道教育委員会がどのような配置計画の見直しを出してくるのか見極めた上で、大空町の高等学校教育を考える会と共に具体的な展開を図りたいと考えている。

近藤委員 20年度卒業生に向けてのメッセージとして早い段階で発信し、進路決定の判断材料となるような対策や取組みを期待したい。

教育長 単年度毎の対策ではなく、高等学校教育を考える会と一緒に先を程度しながら具

体的な対策を検討していきたい。



不妊治療

松田委員 妊産婦の健診回数増への配慮は見受けられるが、不妊治療についてはどのような対応をしているのか。

福祉課長 町として特に対応はしていない。北海道の特定不妊治療費助成事業の制度の活用により治療いただくこととしている。

松田委員 不妊治療に関する指定病院や助成額など、困っている方々への情報提供を積極的に行ってほしい。
町長 今後、どのような支援や対応が可能なのか、内容等の周知を含め努力したい。

公共工事の発注

松岡委員 各自治体も逼迫した財政状況の下で

公共事業の削減が行われており、近隣町村では、現実的に倒産する会社も相次いでいる。このような中、20年度から調査設計予定の女満別小学校改築事業については、地元業者の

方々の期待も大きいのではないかと考えている。また、両地区のアークセ道路となる町道開陽中央線については、北海道発注となる農業予算では地元業者の参入がなかなか難しく、知らない町外業者が地元の道路を工事されることについて地域の方々からの指摘にもつながっている。地元業者の参入について、町としてどのような方法を考えているのか。

発注形態を判断したいと考えている。アークセ道路については、現段階では内容的に農道保全事業による実施が良いのではないかと考えているが確定ではない。今後、十分に内容や工種の検討に努めたい。

松岡委員 色々と難しい問題もあると思うが、地元業者の育成も行政の重要な役割と考える。地域限定型や統合評価落札方式など、地域性をある程度考慮する入札方式の検討を進めてほしい。

濱名副町長 地域貢献度合いなどを優先することも念頭に今後の対応を検討したい。

財政状況の周知

森 委員 評価できる予算編成であると考えているが、人件費の削減

や町債の返還など行政の努力がなかなか理解されにくい。財政状況を町民の方々に理解してもらうためには、個々の会計毎ではなく、

全体を合計して分かり易く周知すべきではないのか。

財政課長 広報4月号への記事掲載や別冊資料を各世帯に配布させていた。ただ、予定としていたのでご理解願いたい。

自治会連合会の除雪機購入

小島委員 2月に開催された女満別地区自治会

連合会の定期総会に出席された方々の話では、除雪機を東藻琴地区2台、女満別地区3台それぞれ購入することに、250万円の予算化の説明があったというところである。議会の予算審議前にあたかも決定されたような説明は、議会軽視にあたりかねない問題とと思うがどのように考えているのか。

町 長 団体から、町

町 長 ふれあいトーフやことぶき大学などでお時間をいただいで説明を行ったが、多くの町民の方々に町の台所をご理解いただけるようPRに努めたい。

小島委員 自治会連合会の総会のあり方として、議会予算審議後に総会が開催されるよう両地区の自治会連合会の会計年度を合わせる配慮が必要ではないのか。

町 長 東藻琴地区が4月から3月、女満別地区が1月から12月とそれぞれ会計年度が異なっているが、行政が強制力を持って行うことにもならない。今後とも連合会と十分話し合いをさせていただくこととしたい。

学校のお祝い品

樫原委員 学校給食にお

けるお祝い品の廃止についてと題した文書が

の会計予算を通って自治会連合会に対し補助する予算の内示があったことから、自治会連合会にその旨を報告したところである。それを踏まえて、自治会連合会において内容等の説明があったものと思つが、今後、誤解のないよう十分配慮して進めたいと考えている。

教育長 ケーキや紅白饅頭については、保護

者の皆さんから徴収した給食費の中で対応しており、栄養士も工夫等でやりくりしながら努力してきたが、最近の国内外の食材価格高騰等の影響が大きく、今回、お祝いの品を廃止せざるを得ないと判断したところであるのでご理解願いたい。

議員研修会

【栗山町議会報告会の傍聴視察】

3月27日、栗山町議会（橋場議長）の議会報告会の傍聴のため、16名の議員が視察しました。栗山町議会報告会は、「議会の監視機能や政策提言活動などの議会・委員会活動の状況を地域に出向いて栗山町民に直接報告・説明し、議会に対する批判や意見、町政に対する提言などを聴取する機会づくり」を主な趣旨に開催されているものです。



当日は、肌寒い天候の中、50名余りの町民の方が会場に足を運び、担当議員の報告・説明に対する熱心な質疑応答がなされるなど、議会に対する町民の関心の高さが伺えました。

● 町政を問う (一般質問6名) ●

●平成20年3月の第1回定例町議会では、6名の議員から14項目の質問がありました。各議員の質問と理事者の答弁要旨をお知らせします。※誌面の都合上、質疑は要約していますので、詳細等は、両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

学校給食について

齋藤 宏司 議員



中国産ギョーザの使用状況

議員 中国製ギョーザによる中毒事件から、中国産食品への懸念が高まる中、住民からの声も大きかった学校給食についての考え方と、中国産ギョーザの製造元である天洋食品の製品を町内での使用はなかったのかどうか伺います。

教育委員会委員長 学校給食は、学校給食法に基づいて実施しているものです。したがって、良質かつ安価な食材を調達し、栄養バランスのとれたメニューによって、安

心、安全な給食を提供することが求められています。

また、近年重視されている食育の観点も大切で、それらを総合的に考慮した上で、保護者から適切な額の給食費を徴収して給食の提供をしています。



このたび、中国産の食材による中毒事件が発生

いませんでした。今後においても、品質成分の検収、確認等を十分に行いながら、食材の選定に万全を期してまいりたいと思います。

議員 食材で一部原料が中国産のものをかなり使っているとのことですが、安さだけ追求されて使っているのかと思うが、どのように考えておられるのか伺います。

教育長 これまで外国から輸入していた食材について、安心、安全を脅かすような実態があることは、恐らく全国どここの給食センターでも予見できなかったと思うので、今後十分配慮をして検収等に努めていかなければならないと考えており、今後、中国産の原料を含む場合は、納入業者に十分農業等の検査の処理を提出させ、徹底していきなさいと思っています。

議員 町内の学校給食

食材の購入方法と食へ残し

の食材は、どのような方法で受け入れているのか。また、本町の給食において、食へ残しの率はどのくらいあるのか伺います。

教育長 食材の購入方法ですが、米及びパンの原料である小麦粉については、北海道学校給食会が全道一円を対象にして食材を確保しているの、そこから一括購入しています。牛乳は、北海道が補助を行っていることから、それらの供給事業者から買うことに決定しています。そのほか、缶詰調味料、乾物等については、管内4町8調理場が連携して共同購入しています。野菜などの生鮮食料品は、町内の業者から購入しています。特に野菜については、地産地消という観点からできる限り地場産品の使用を心がけているところです。

食へ残しは、白いご飯で1割から2割くらい、野菜の和え物、酢の物などで1割から2割くらい、煮物で15%から20%くら

町政執行方針について

坂本 一光 議員



総合計画に基づく重要な政策は何か

議員 大空町として初めて総合計画に基づく実行の初年度です。目標とするところと重要と位置付けられる政策は、どのように考えておられるのか伺います。

町長 平成18年度、19年度は、合併直後のため、当面の課題整理を中心に進めてきました。昨年3月に行政改革大綱、推進計画を策定し、財政健全化計画も示したところです。合併調整を行ってきた事務事業は、686項目になります。今回、予算

において、一般会計で事業項目ごとに積み上げた項目数が370件、72億円という予算になります。

議員 一番知恵を絞らなければならぬのは、「ふれあいと語らいの協働のまちづくり」が基本でないかと思えます。まちづくり基本条例の準備や地域担当職員制度も設けられたと思うが、住民にわかりやすいようなアピールをしながら、協力してもらおう方法を考えなければならぬと思うが、どのように考えるか伺います。

町長 住民の皆さんにいろいろな形でアドバイスをいただきたい、支援をいただきたい、支えなければならないものだと考えています。町の思いや、総合計画に掲げる町の方

向性というものを伝える努力を今後ともまいりたいと思います。

議員 職員同士の縦割り意識の中で、ブレーキになっているとも感じています。お互いが共通認識を持ちながら、1つの方向に向かって安心して暮らせるまちづくりを目指すということを進んでみてはいかがかと思つがどうでしょうか。

町長 従来から比して横の連携をとるようになっていることで進めてきたつもりです。関係するところがすべて集まって協議するということやり方でやっているつもりですが、趣旨について、職員にも伝えてまいりたいと思います。

エコツーリズム推進法について

議員 本年4月にエコツーリズム推進法が施行されます。環境省は、市町村ごとにエコツーリズム推進協議会で全体構想をつくったものについて、支援すると報道されていましたが、大空町としてどう取り組まれるのか伺っておきたいと思えます。

町長 町の農村景観に

関することで規制をしていくということが可能になるのではないかと考えています。地域の機運を醸成し、組織づくりに努力をしてまいりたいと考えています。

議員 グリーンツーリズムと似たところがあると思えます。エコに対する住民の関心にもつなが

地球温暖化対策実行計画について

議員 地球温暖化対策実行計画についてですが、庁舎を1つの事業所としてだけの実行計画で一部、町内の事業所、住民にもお願いするようなことは書かれていたが、まだ広報等のPRもありません。庁舎だけでなく、住民生活の上でも広く理解と協力をいただくべき問題であると思つが、その取組についてお伺いしたいと思います。

町長 基準年を平成18年度とし、平成20年度から平成24年度までの5年間としています。町の事務事業における温室効果ガスの排出量を6%削減していくこととするものです。行動指針を平成20年度に作成して、協力を求め、情報提供を図っていきたいと思えます。

議員 最近、太陽光発電がとりあげられ、網走

っていければと思うがどうでしょうか。

町長 そこが発展して移住、定住につながるという分野でないかと思えます。交流人口の方々に地元で受け入れる受け皿としての組織なり、体制が必要ではないかと思つています。組織づくりに努力をさせていただきたいと思えます。



市、北見市、美幌町は助成をし、木質のペレットストーブなどに力を入れている自治体もあるが、助成についての考え方について伺います。

町長 太陽光発電や木質ペレットの利用、有機質のバイオマスでの温熱

利用などいろいろな可能性もあります。行動計画にあわせて考えていきたいと思っています。

議員 住民を巻き込ん

で、いろんなところで協力してもらおうという努力もしてほしいと思います。町長 住民の方まで数値目標の中に組み入れる

ことについては、慎重に扱わなければならないと考えているので、ご理解いただきたいと思っています。

指定管理者制度について

導入効果と問題点は

議員 指定管理者制度が導入されたが、行政としての効果として挙げられる点、利用者側から見た効果は、どのように把握されているのか伺います。

当初の協定内容で想定できなかった点が問題点として浮上しているのではないかと思うが、どんなふうに工夫して見直していくのか、課題と改善の考え方について伺います。

町長 効果としては、指定管理者が料理教室や講習会を開催、図書館などでの手づくり絵本教室、パークゴルフ場、公園などではパークゴルフ大会

の自主開催、乳酪館でバターづくり体験教室などが展開されています。



いろいろな創意工夫のもとに施設利用者を増やし、各種研修室の利用増進を図ってくださっていると感じています。2年目以降いろいろな効果が期待できると考えています。

課題としては、多額な緊急修繕に対しては対応できない状況が多々あり、平成20年度予算では、即時に対応できる体制を整えてきたところです。町と指定管理者というのは、お互いがパートナーとして、より良い制度、仕組み、取組が図られるように努力していきたいと思っています。

机上で計算した積算の内容が十分現場で働いているのか十分確認し、指定管理者と意思疎通しながら、対応してほしいということ、職員に伝えていきます。そういう意識を持って、今後の指定管理者との関係の中の経費調整等について、当たらせていただきたいと思います。

議員 平成18年12月議会において、法定合併協議会で決められた調整方針の進捗状況を質問している経過があります。調整項目は総体で686件、うち重点項目は66件、その中で事務的に手をつけていない事項の件数を質問し、その時点では、3年以内が20件ほど未着手、5年以内については2件、その他期限のないものについては6件で、合計28件の報告をいただいています。それから1年が経過しているが、現時点で事務的に手をつけていな

法定合併協議会で決められた調整方針の進捗状況について

豊島 義秋 議員



調整項目の未着手件数は

い区分ごとの件数と項目名を伺いたいと思います。

町長 未着手であった28件のうち、既に着手をして調整済みが1件、現在調整中のものが25件、未着手のものが2件です。この未着手の2件については、国土利用計画、市町村土地利用基本計画の見直しです。もう1件は、小規模自治会の再編という項目です。

総体で調整項目は686件ありましたが、既に調整済みのものが641件、調整中のものが43件、未着手のものが2件です。調整中のものについては、使用料、手数料の見直しに係るものが多くあり、平成20年度に見直しを図ろうということ、鋭意努力していきたいと考えています。

議員 調整項目については、まだ2件ほど未着手のものがあるということですが、内容的に見てやむを得ないと理解している、的確な時期にそれぞれ進めていただければよろしいかと思えます。やっと大空町の総合計画も策定され、新しい大空町のまちづくりが粛々と推進されていくのだらうと思っています。そういう目標なり方向性の町総合計画を推進するためには、ベースとなる基礎の旧町村の取組の違いや差異を調整するというのがこの調整方針だと思います。この法定協議会で示された調整方針項目を整理していきながら、新しいまちづくりが推進されると認識している、そのような考えでよろしいのか、伺いたいと思います。

町長 新しい町の総合計画のベースとなるものは新町建設計画であり、合併調整の686項目だろうと考えています。これは、町民の皆さんに自治体として約束した項目ですので、しっかりと高め上げ、新しい町としての考え方を植えつけていく中で、新しい大空町の進むべき方向性を示していきたいと考えています。まだ未着手のもの、調整

地域の観光振興について



中のものがありますが、しっかりとまとめながら、次の段階へと引き継いでいきたいと思っています。

藻琴山温泉芝桜公園の今後の施設整備について

議員 私は、平成19年9月議会で芝桜公園の今後の運営方針、施設等の整備について伺い、1日も早く取り組んでいただきたいと要望してきましたが、平成20年度より着手予算も計上され、肩の荷が半分ほど下りたかなと思っています。東藻琴地区の住民も期待をしているのではないかと、思っています。そこで、藻琴山温泉芝桜公園

の今後の施設整備について、3点伺います。

1点目は、平成20年度の投資的整備事業の内容と総事業費は幾らくらいか。また、その工事の着工予定時期はいつごろを想定しているのか。
2点目は、平成21年度以降の整備計画はどのようになっているのか。
3点目は、平成18年6月に温泉ボーリングをした設備の保守状況と活用時に支障のない年限は、どの程度と考えているのか

かお伺いします。

町長 1点目の平成20年度の事業内容としては、宿泊施設跡地へのシバザクラの植栽、遊歩道の整備、斜面やシバザクラが脱落している部分の整備、老朽化している展望台の整備、園路の改修、電柱の移設、オープンテラスの整備、入場ゲートの整備、駐車場用地の購入などを考えています。全体事業費としては、9,860万円を平成20年度予算として計上させていただきましたところですが、時期は、年度が始まってからすぐでも取り組みたいと思っています。ただ、工期が長くなるようなものについては、その後の整備になるのかと押さえているところです。

2点目の平成21年度以降の整備計画ですが、平成18年6月に温泉ボーリングをしていることから、温浴施設、宿泊施設の整備について、協議が調い次第、精力的に進めてまいりたいと考えています。3点目の温泉ボーリングをした設備の保守状況と活用時期に支障がないかということですが、現状では、特段の管理をしている状況にはなっていない。現在は密閉をしていない状況です。専門業者に再度確認したが、利用しない状態でも、おおむね3年ごとに揚湯、洗浄工事を行えば、ある程度の年数が経過しても利用することができるとはいかとのアドバイスを受けています。しかし、早い時期に整備が進められるよう努力をしてまいりたいと思います。それがかなわないような場合は、3年をめどに揚湯工事を行いながら対応していきたいと考えています。

議員 工事が着工されるということですが、町民は胸をなでおろしているのではないかと推察しますが、メインである施設整備ということが議会や町民の考え方も含めながら、これから整理されていくのだからと思っています。ボーリングしたものが年数を経っていくと大丈夫

町長 内容については、地域審議会でも基本的な

なのかということが耳に入ってくるので質問している経過があります。私も、東藻琴地域審議会の記録等は一読しており、支障のないように事業を進めたいという思いや、年数的には3年程度ということは承知しています。が、町民のほとんどの人は内容がわからないので、町広報や議会広報で芝桜公園の整備内容を個々にダイレクトに届けたいという思いで質問をしています。平成21年度以降の事業計画についても、議会や地域住民の意見も聞きながら、早急にまとめ進めていただきたいと思います。

また、芝桜公園の整備については、懸案事項の1つについて、なんと平成20年度で解決するという強い意志を持ちながら、予算編成をさせていただいたところです。さらに、ほかの項目も含めて最大限の努力を払ってまいりたいと思います。



職員の定住について

檜原達也議員



議員 企画課では、移住定住促進事業として、課の総力を挙げて一生懸命やっているようですが、庁舎に勤めている職員の方々の定住はどのようになっているのか伺います。

町長 現在、大空町の職員は消防職員を含め206名います。そのうち、町外在住者は7名で、割合として3・4%という状況にあります。合併以前から町内在住ということを中心に基本に住んでいたが、転出された方、家族の介護とか子どもの養育上扶

養親族の住所地に移らなければならぬという実態がありました。また、臨時職員や嘱託職員は56名いますが、8名が町外からの通勤者となっています。いずれも専門的な職種であり、人材確保の面から町内在住を義務づけるということはなかなか難しいという考えですが、町内居住のお願いを随時しているところです。

議員 職員の定住については、採用時には地元に住んでほしいと言っているのかどうか。やむを得ない事由のある場合はその限りではありませんが、しっかりとやっていただきたいと思えます。

町長 採用の時点においては、町内に住んでいただくように、職員住宅の手配、民間住宅の紹介

ということを含めて話をしており、今後でもできるだけ町内居住ということを進めていきたいと思っています。職員以外の方々についても、町内に居住していただくための新しい政策なども考えてきたので、有効に活用できるように努力をしてみたいと思っています。



温暖化対策の切札 太陽光発電等について

議員 今年は、洞爺湖サミットが開催され、最大のテーマは温暖化対策といわれています。風力発電や太陽光などの再生可能エネルギーによる発電設備建設への投資は、

急激に拡大しているそうです。世界の再生可能エネルギーによる発電量は、原子力発電のほぼ4分の1に達しているそうです。原子力開発が停滞する中、今後ますます伸びることが予想されています。再生可能エネルギーによる発電設備容量が最も大きい国は中国。日本は6位です。大空町は、日照率が日本でも高い地域であると言われています。この無限の資源を利用し、温暖化対策の切り札として太陽光システムの導入に対し、地方公共団体として応援し、洞爺湖サミットを盛り上げてはどうか伺います。

町長 太陽光発電は、

化石燃料に変わる有効な代替エネルギーで、地球の温暖化の防止、抑止に効果があると判断しています。

具体的には、石油や石炭などと違い枯渇しない永続的な利用が可能です。という特徴があります。温室効果をもたらす気体の排出量を抑える効果もあります。

地球温暖化対策の実行計画だけでは地球温暖化防止に十分な効果が上がるとは言えないと思うので、町民の皆さんの行動指針というものを今後早期につくって、誘導方策として、どのような助成を行うべきか考えていかなければならないと思います。太陽光発電等の助成についても、そのほか提案されているものもあるの、十分検討して支援策を今後取りまとめたいと考えています。



議員 太陽光発電の助成については、民間の導入に呼び水を差すという意味で、財政も大変厳しい中ではあるが、是非やっていただきたいと思っています。

町長 太陽光発電と地球温暖化対策については、今後、いろいろな形で各市町村も取組を進めていくだろうと考えています。私どもの地域も全体的な運動とあわせ、地球の中でどういった形で温暖化のために貢献できるか、町として応援をできるか積極的に取り組んでまいりたいと思っています。

空飛ぶ救命室ドクターヘリ等の誘致について



議員 北見赤十字病院で内科医師が3月末に一度に6名も退職すると報道されており、ますます網走地方は医師の過疎地域になっていきます。ドクターヘリを導入することによって、患者のいる現場に医師、看護師が出動し、治療が始められることが最大の特徵で、救急車の長時間搬送で病院に行く前に亡くなってしまふ患者を避けることができますというメリットがあります。北海道の管理空港もある地方にドクターヘリを誘致して、安心して暮らすことができる地域にしたいと思うのですが。

町長 北海道においては、平成20年からの北海道医療計画の素案が示されたが、ドクターヘリの未整備地域に対して導入の可能性について検討するという内容になっています。網走支庁管内の医師数は決して多くなく、医療過疎といってもいいのではないかと感じています。住民の方々が安心して住んでいただける地域となるためには、医療における支援措置、体制を整えるということが必要になると考えているところです。

議員 これは大空町では、基地となる病院、医療スタッフの充実というところが必要になります。この地域として声を上げながら、誘致活動を進めていく必要があると思っていますので、働きかけを行ってまいりたいと思っています。

お願い

議長及び副議長宛の案内文書については、公務等の日程調整が必要となりますので、必ず議会事務局まで「持参」か「郵送」でお届けをお願いします。

☎099-2392
大空町女満別西3条4丁目1番1号 宛
大空町議会議長

送り先

けでは誘致できないので、北見、網走、美幌など、お互い地域社会が協力し合わないとい誘致が非常に難しいと思います。連携してやった方がいいのではないかと思っているがいかでしようか。また、ドクターヘリを北海道に2台目を配属したいという国の意向です。是非網走地方に配属されるよう強力な運動をしていただきたいと思えます。

町長 必要な地域であるということを早く北海道にも伝えながら、近隣の市町村などにも話しかけて、この圏域で実現できるように努力をしてまいりたいと考えています。

行財政改革について



深川 昇 議員

議員 本年度まで進められてきた行政改革については、今後についても進められると考えるが、経費等の削減、節減の考え方をお聞きします。

町長 平成20年度においては、職員採用の抑制、独自の手当削減、民間委託等による人件費を抑制するとともに、物件費等の管理経費の節約に取り組んできました。公債費の利率の高いものなどは繰上償還で負担の軽減を図り、未利用の土地などについて処分をさせていただいています。さらに、使用料等の全体的な見直しを進めていこうという内容になっています。

議員 大空町財政健全化計画は、今後、平成24年まで計画をされているが、平成23年、24年ごろには明るい兆し、見通しが見えてくるのかどうか。また、給与費、補助金の削減は、その辺で止まるのかどうかお聞きします。

町長 職員の給与等の削減については、独自削減の部分であり、本来の適正な水準にしたものについては、それ以後も続くというふうには思っています。

議員 補助金は、本当に必要なかどうかが、公平なのかということ物差しで当てていくということが必要なことだろうと思います。必要なところには補助金もつけなければなら



議員 職員にあっては給与等の削減、職員の削減もやむを得ないとは思いますが、それが住民に対してサービスが低下しないのか。一番心配しているのは、やる気の問題、元気の問題だと思えます。行政の明るさが見えず、暗さが目立つと住民から指摘されています。執行方針にも意識改革というものがある言葉として見当た

町政執行方針について

りません。数字的な削減効果については把握できるが、この上に意識改革の必要性を再認識してほしいと思う方が考え方を伺いたいと思います。

町長 職員ごすれば、前向きに町民の皆さんに喜ばれるような仕事をやっているときは、おのずと明るさが表に出て、元気が、やる気が出るのではないかと考えています。平成20年度については、前向きな町民の皆さんに喜んでいただけるような仕事が多くなってくるだろうと思うので、職員の意識も当然変わり、明るさが戻るのではないかと考えます。

また、削減効果については、数字で示さなければ納得されない方もおられるし、いろいろな仕組みを変更していくためには、気持ちの上のことも大切にしながら進めなければならぬと思います。そういうときに意識改革も必要だろうと思うので、十分配慮しながら取り組んでまいりたいと思います。

議員 町政執行方針において、道路整備、上下水道計画、地域担当者制度、企業誘致、移住定住、地場産業振興、空き店舗利用、観光振興、指定管理者制度について述べられているが、もう少し詳しくお聞きしたいと思います。

町長 道路整備計画では、町道開陽中央線のアークセブ道路について、整備を行うとともに、女満別地区市街地道路の舗装、東藻琴地区農畜産物輸送等に係る道路舗装等に取り組んでいきたいと考えています。

上下水道は、女満別高台地区の普及率を高めて、安心して飲める水を提供してまいりたいと思います。下水道は、腐食マンホール等の補修、汚水の貯留施設的设计調査費、合併浄化槽の予算措置をさせていいただきました。地域担当者制度は、2月1日から町内全48自治会に配置させていただきました。

企業誘致、移住対策等ですが、定住人口、交流人口を増やすということで、意識をして取り組むことが必要でないかと考えています。

地場産業の振興対策の活用ですが、地場産業振興対策補助金をもって開発意欲を支援していこうと考えているので、ご利用いただきたいと思っています。空き店舗対策については、住み替え事業等について提案させていただきます。中小企業振興資金なども新規に開業される方が借入れできるような仕組みに改めています。観光の振興についてで



すが、ガイドブックをつくって旅行者にアピールしていきたいと考えているところです。

指定管理者の関係については、共通の目標を持つパートナーであると考えており、より良い制度となるよう取組を進めてまいりたいと考えています。

議員 地域担当者制度は、あくまでも自治会の会合の場所での説明員という認識でよろしいのか伺います。

町長 担当者は、自治会の総会には必ず出席するという考え方でいます。まず顔を覚えてもらい、地域に溶け込んで交流を進めていく中で、本来の目的が達成されるというふうに考えています。

議員 移住定住対策ですが、企業誘致や定住に結びつくようにマニュアル化してはどうかという意見ですが、その点はいかがですか。

町長 1人1人の対応

というのは、すべて異なるものだと思います。いかにその方のための思っているかということをして速やかに察知して対応することも職員の能力、資質だろうと思うので、高めるという気持ちを持って対処したいと考えています。

議員 地場産業の振興ですが、これから特産品といったものを開発される予定があるのかどうかお聞きします。

町長 町として具体的な動きというところはありませんが、民間の方々が努力されているものについては、積極的に支援していこうと考えており、予算も組んでいます。

議員 芝桜公園について、外に向けたグレートアップというものも必要であると思います。

町長 整備の面のほかに運営のソフト面である魅力アップできるような取組をしてみたいと思います。

大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向や議事の日程のほか、議決結果や会議録なども随時更新のうえ掲載していますので、是非ご覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>からアクセス



指定管理者制度について

森田 暢明 議員



指定管理者のノウハウは発揮できているか

議員 大空町は、平成18年9月より今日まで10施設、本年4月から更に3施設を指定管理者制度導入によって業務を代行させることとしており、町政執行方針においても、今後順次導入を図ると述べています。

そこで既に導入を図った施設について伺います。
1 つ目には、事業者の有所得意なノウハウは十分発揮できているのか。
2 つ目には、制度導入以前の業務、事業は行政と指定管理者間でしっかりと継承されているのか伺

います。

町長 ノウハウがどのように発揮されているかという質問ですが、指定管理施設には、施設の維持管理のほか貸館業務があり、入浴施設や図書貸出し業務、農畜産物の加工技術の提供や製造、レクリエーションの提供といった施設の特徴があります。各施設において、指定管理者の皆さんは、自主事業を実施したり、専門的技術を活用して管理を行ったり、資格を有する人を確保しながら利用者増や質の高い施設の提供を行っていると考えています。

施設の管理者が変わったとしても、今までと変わりなく、それ以上のサービスを提供があるということが利用者側からの欲求だろうと思います。



(農業構造改善センター)

指定管理者とは、指定後も十分協議をさせていただいています。年度途中に十分でないところの発見に至る場合もあります。見に至る場合もありませんが、その都度協議しながら、今までのサービス提供となるよう努めているところです。問題点があったところについては、1年間終わつた後にすべて改善することということでなく、その都度改善に努めているところです。町と指定管理者というのは、新しい公共

の概念やより良い施設運営というところに向けてのパートナーだという意識を持って取り組んでいかなければならないと考えています。

議員 民間のノウハウを活用するというのは、行政の施設を活用して住民と町づくりをするという観点から見れば、行政が常にそれなりのビジョンを持っていなければ、民間の事業者もそれに沿って活動できないのではないかと思うが、ビジョンがしっかり盛り込まれた要綱ができ上がっているのかどうかお尋ねします。また、利用者側が今後どのように施設を利用していきたいのかというようなことも十分に聞いた中で、指定管理者制度を導入することが大事でないかと思うが、その点についてお聞きしたいと思います。

町長 指定管理に移行するための各施設のビジョンといたっていけば、確かに十分でない部分があると思います。今後、町としてその施設の活用をどのように図っていたきたいというふうな意思も含めて、お示しするように努めてまいりたいと思います。また、施設の毎年度の検証について利用されている方々から意見をいただくというような形もとりながら、利用者の求めているところと町のビジョンにそごがないかどうかを把握しながら進めてまいりたいと思います。

行財政改革と指定管理者制度

議員 行財政改革と指定管理者制度について伺います。行政は、今日まで施設運営業務、住民サービス事業を多くの施設を使用して、町づくり、人づくりに寄与してきました。今日、住民サービスの多様化、自治体財政の硬化化等、自治体の行財政改革は待ったなしの状況であると感じています。そこで、その1として、行財政改革を進めながらも指定管理料に指定

管理者の潜在力を引き出す積算は盛り込まれているのか。そのこととして、指定管理者の選定委員会に民間人の登用の考えはないのかをお尋ねします。

町長 指定管理料の積算においては、施設維持管理を運営する上で必要な経費を過去の実績をもとに算出しています。有資格者が必要な場合は、人件費を別建てで積算して指定管理料に盛り込んでいるのが現状です。ただ、常に計算根拠は正しかったのかどうかということを検証しながら対処していかなければならないと考えています。また、新年度予算には、突発的な修繕料の予算計上もさせていたいただいています。状況の変化、積算時の対応の変化、指定管理者が対応しきれない場合があると考えれば、必要な時期に対応を考えてまいりたいと考えています。

選定委員会における民間の方々への登用ですが、透明性のある選定となるということが、制度を活

用していく上で必要であると考えているので、実現できるように考えてみたいと思います。

議員 行財政改革と指定管理者制度についてですが、危惧されることは、一番人件費の部分が高いのかと思うが、その人件費をある程度圧縮することによって、労働基準法に抵触してしまうようなことが実際あるのであれば、更に人を増やすような指導も行政として必要なことでないかと思えます。また、指定管理料として不足の部分があれば、補えるようなことも考えていただかなければならないと思えます。

民間人の登用については、行政側や利用者側という立場でなく、客観的にその立場を担えるような人材の登用を考えられないか。今まで行政の内部の職員だけで選定委員会を組織していたというふうに認識していますが、行政側の感覚で選定にならないかという思いもあるの、お聞きします。

町長 人件費については、いろんな面で効率化を図るということは必要であり、そのような対応もさせていただいてます。それが労働基準法を逸脱したような時間の設定であったり、最低賃金を割り込むような単価設定であれば、直ちに改善を図らなければならぬと思うので、再度、見直しをさせていただきたいと思えます。当初運用ができた内容であつても、機能しないというようなことがあれば、直させていただきます。その時期についても、現場の状況を見ながら、必要な時期に対応させていだけという考えを持っていきます。

選定委員会については、民間の方々に入っていた方向で考えたいと思います。

評価制の導入を

議員 民間の事業者が一生懸命町の施設を使いながら、住民と一緒に町

に変わって町づくりをしていだけるといふような中で、評価制という仕組みを何とか確立してもらえればというふうに思うがどうでしょうか。

町長 各々の施設の役割等しっかりと見据えた中で、指定管理に出す場合の求めるところというものを定めながら対応していきたいと思えます。

また、どういうような仕事が出来てきたのかということについて、行政と指定管理者だけで判断するのではなく、町民の意見もいただきながら評価、検証をさせていただく機会をつくっていききたいと思っています。



その他議会活動の状況等

【女満別ドリーム苑
増築施設現地見学】



3月18日、町内の高齢者の福祉環境を充実させるためにユニット型30床の増築工事を実施された特別養護

老人ホーム女満別ドリーム苑へ16名の議員が訪問し、沼田施設長など関係者からの説明をいただきながら増築施設の内部を見学しました。

【湖水開き安全祈願祭】

5月1日、恒例の安全祈願祭が女満別湖畔前浜にて行われ、夏の観光シーズンを控え湖の安全を願いました。



【札幌まつり
オープニングセレモニー】

4月19日、札幌市及び札幌近郊に在住されている旧東藻琴村ご出身や旧村に縁のある方々による札幌大空町東藻琴会（国井武会長）が札幌市内で開催され、本町議会を代表して後藤議長・厚海副議長が参加しました。



【芝桜まつり
オープニングセレモニー】

5月3日、25回目を迎えた芝桜まつりの恒例のオープニングセレモニーが藻琴山温泉芝桜公園会場にて行われ、シーズン幕開けと同時に大勢の観光客が来訪されました。



臨時会の議案と質疑

第2回臨時会

～4箇所の公共施設について、
2団体を指定管理者として承認～

第2回臨時町議会は、2月19日の1日間の会期で開かれ、以下の町提出案件が決まりました。

一般案件

【指定管理者の指定①】

地方自治法第244条の2の規定により、次の公共施設に関する指定管理者が決まりました。

施設名	東藻琴農村環境改善センター・東藻琴公民館
指定管理者名	フジケンビルサービス株式会社 代表取締役 畠山 隆 (美幌町青山北43番地)
指定期間	平成20年4月1日 ～平成23年3月31日

質疑

森田議員 今回の応募団体数及び選定理由、ど

のように施設の利用効率の向上を目指すのか伺う。

生涯学習課長 公募説明会には2社が来られたが、応募団体数は最終的に1社のみの状況である。指定管理者制度の目的である民間のノウハウを活用して、施設の利用効率の向上に努めていただくと同時に後協議していききたい。

企画課長 選定理由につ

いて、大空町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例(以下「条例」)第4条に基づき、12名の選定委員により応募者からの内容説明の聞き取り、一定基準を設定して点数付けを行い、町長へ選定に関する意見を提出するなどの手続を経て選定に至っている。森田議員 1社しか応募がなかったのは、最初から指定管理業務へ移行することに無理があったのではないのか。

教育長 民間のノウハウを活用するとして行政改革等の方針を踏ま

え、一つの方向性として指定管理業務へ移行したのでご理解願いたい。



(農村環境改善センター)

【指定管理者の指定②】

地方自治法第244条の2の規定により、次の公共施設に関する指定管理者が決まりました。

施設名	女満別B & G海洋センター・東藻琴B & G海洋センター
指定管理者名	財団法人 女満別青少年育成事業協会 会長 如澤 健治 (女満別西3条4丁目)
指定期間	平成20年4月1日 ～平成25年3月31日

質疑

森田議員 この指定管理者については、公募せ

ずに選定されているが、どのような基準で選定したのか伺う。指定期間を5年間としているが、期間設定の考え方について伺う。

女満別教育センター所長 女満別育成事業協会にあつては現在、女満別B & G海洋センター施設の一部を管理しており、海洋センター育成士が1名在籍し、企画運営や海洋性スポーツ指導の能力があるなど、協会が蓄積した管理・運営技術や専門的技能などを活用することによって施設の設置目的を効果的かつ効果的に達成できると判断され、条例第5条に基づき、公募によらないで決定に至ったものである。指定期間については、全国的に体育施設にあつては5年程度の指定期間が通例となっており、実施事業の成果を検証するために一定期間を要する施設は5年程度の期間とされている。

森田議員 正職員を配置して直接行っている業

務について、指定管理者の職員に大変責任の重い業務を正職員と同じように運営させることができるのかどうか見解を伺う。

教育長 指定管理業務への移行にあつて、事前に指定管理者の業務と教育委員会直営の事業とを峻別対応しているが、ご指摘を踏まえ、指定管理者が不案内の部分があれば当分の間、正職員を支援・応援に対応させることも検討したいのでご理解願いたい。

小島議員 B & G海洋センターについては、スポーツ関連施設であり色々な事故が起きる可能性が高い。以前、全国的にプールでの事故が多発した時期があつて責任所在等が問題になったケースがあつた。この種の事故は発生してはいけないが、万が一起きた場合の責任所在はどのようになるのか伺う。

女満別教育センター所長 プール運営についても



指定管理業務に含めてあり、別枠の損害保険に加入いただくこととしている。事故が起きた場合、指定管理者の責任になるのか、町の責任となるのかは、事故の内容によるものと考えている。

教育長 プール監視人の人件費も含めて指定管理業務への移行を考えており、プールには常時監視人が就いている状態となる。指定管理者主催の事業と教育委員会の社会体育事業など種別の違いがあるが、連携しながら事故発生時に対応したいと考えているのでご理解願いたい。

条例等案件

【後期高齢者医療に関する条例】

老人医療費を中心に国民医療費が増大する中、国民皆保険を維持し、医療保険制度を将来に亘り持続可能なものとしていくため、高齢者世代と現役世代の負担を明確化した現行の老人保健制度に代わる後期高齢者医療制度（長寿医療制度）が創設され、平成20年4月から運用されることに伴う同条例の制定を了承

【課設置条例の一部改正】

後期高齢者医療制度（長寿医療制度）が創設され、平成20年4月から運用されることによる福祉課の分掌事務の一部変更に伴う同条例の一部改正を了承

【特別会計条例の一部改正】

後期高齢者医療制度（長寿医療制度）が創設され、平成20年4月から運用されることにより、地方自治法の規定に基づき一般の歳入・歳出と区分し、後期高齢者医療特別会計として経理するた

め、同会計を創設することに伴う同条例の一部改正を了承

【国民健康保険税条例の一部改正】

後期高齢者医療制度（長寿医療制度）が創設され、平成20年4月から運用されることにより、後期高齢者医療制度への国民健康保険税の負担を明らかにするために現行の医療保険分と区別の上、後期高齢者支援金の必要額に応じて国民健康保険税として課税することに伴う同条例の一部改正を了承

予算案件

【平成19年度一般会計補正予算（第9号）】

歳入歳出予算にそれぞれ480万円追加し、総額が75億8,207万円となりました。

▼歳入の主なものとして、
税制調整基金繰入金
480万円

▼歳出の主なものとして、
品目横断的経営安定対策仮渡金利子助成金
168万円

公共施設（8カ所）指

定管理委託料

303万円

質疑

◆品目横断的経営安定対策仮渡金利子助成金

（168万円）

坂本議員 畑作一般のみならず家畜の餌の高騰など農業全般が非常に苦しい状況にある中で、黄ぐた対象者への今回の予算措置について、公平な扱いをしなければならぬ行政の立場としてどのように考えているのか。また、

両地区JAの仮渡金の利率が違う中で一律0・5%助成とされているが、同じ町民でありながらJAによって取扱いが違う点について併せて伺う。

農政課長 黄ぐた補正で

一定の所得確保ができたとしてもその間の利息部分については農家負担となり、農家負担に対する国の制度がないことから、町としてできる限りの支援の講ずるため、利子補給制度を検討したのでご理解

願いたい。なお、両地区JAの仮渡金の利率が違っているについては、JA女満別は、北海道信用農業協同組合連合会からの借入資金利率1・375%をそのまま農家へ貸付、東藻琴地区は旧JA東藻琴内部資金融通による利率0・75%で設定し農家へ貸付と伺っている。

坂本議員 国の今後の農業政策の方向性が不透明な段階にある中、新たに別な問題等が出てきた場合には改めて何らかの手当てを考える必要が出てくる可能性もあると思うがどうか。

農政課長 今回の措置については、3月交付金部分が平成19年度の所得になつていないという部分で、農家の方々が大変厳しい状況にあることから19年度限りの対策と考えている。今後、別な事例等が出てきた場合には、改めて検討に向けた協議をしながら取り進めていきたいと考えているのでご理解願いたい。

第3回臨時会

～議員期末手当の一部削減を決定し、各委員会の新体制がスタート～

第3回臨時町議会は、東藻琴地区での移動議会として5月22日の1日間の会期で開かれ、以下の町提出案件・議会提出案件が決まりました。

人事等案件

【職員懲戒審査委員会委員の任命】

平成20年4月1日に急逝された故森 勝さん（中央区）の後任委員に、廣川和寛さん（末広）の任命に同意（任期平成22年6月19日まで）

【教育委員会委員の任命】

合田秀樹さん（中央、平成20年6月11日任期満了）の再任に同意（任期4年）

専決処分案件

【国民健康保険税条例の一部改正】

後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の創設に伴い、同制度に移行す

る被保険者の被扶養者から国民健康保険の被保険者となった方について、新たに国民健康保険税が賦課されることから2年間の激変緩和措置を講ずることに伴う同条例の一部改正の専決処分を承認

【道路占用料徴収条例の一部改正】

道路占用料の延滞利率の見直しに係る政府契約の支払い遅延防止等に関する法律の改正等に伴う条例の一部改正の専決処分を承認

【税条例の一部改正】

税体系の改革までの暫定措置として、個人住民税の寄付金制度の拡充や公的年金からの特別徴収制度の導入、固定資産税における省エネルギー住宅への改修に係る減額措置の創設など、地方税法の改正等に伴う条例の一部改正の専決処分を承認

【手数料条例の一部改正】

近年、他人の戸籍謄本等の不正取得に関する事件発生を踏まえ、誰でも戸籍謄本等の交付請求ができること従来の公開原則を改める戸籍法の改

正等に伴う同条例の一部改正の専決処分を承認

【平成19年度一般会計補正予算(第12号)】

歳入歳出予算にそれぞれ3,450万円を追加し、総額が94億8,374万円となりました。

▼歳入の主なものとして、地方交付税

5,070万円

財政調整基金繰入金

1,955万円

女満別特別養護老人ホーム増築事業債

△3,580万円

▼歳出の主なものとして、老人保健特別会計繰入金

3,450万円

【平成19年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)】

歳入歳出予算にそれぞれ1,326万円を追加し、総額が12億6,064万円となりました。

▼歳入の主なものとして、財政調整交付金

△2,179万円

現年度療養給付費交付金

1,317万円

国民健康保険基金繰入金

2,381万円

▼歳出の主なものとして、

一般被保険者療養給付費

2,411万円

退職被保険者等療養費給付費

△1,086万円

【平成19年度老人保健特別会計補正予算(第3号)】

歳入歳出予算にそれぞれ788万円を追加し、総額が12億3,858万円となりました。

▼歳入の主なものとして、現年度医療費交付金

△961万円

現年度医療費負担金

△1,701万円

一般会計繰入金

3,450万円

▼歳出の主なものとして、医療費給付費

788万円

【平成20年度一般会計補正予算(第1号)】

歳入歳出予算にそれぞれ250万円を追加し、総額が72億1,234万円となりました。

▼歳入の主なものとして、公共施設等整備基金繰入金

250万円

▼歳出の主なものとして、女満別小学校給食センター管理運営費

250万円

【常任委員会委員の選任】

議会委員会条例の規定により、「総務」「厚生文教」「産業建設」の各常任委員会(5月2日任期満了)の委員(各6名)が議長の指名により、選任されました。引き続き各常任委員会が開催され、次のとおり正副委員長が選出されました。

議会議員の任期満了(平成22年4月22日)までの期間、新体制で積極的な審議等に努めますのでよろしくお願ひします。

【議会運営委員会委員の選任】

議会委員会条例の規定により、議会運営委員会(5月2日任期満了)の委員(6名)が議長の指名により、選任されました。引き続き議会運営委員会が開催され、次のとおり正副委員長が選出されました。

議会議員の任期満了(平成22年4月22日)までの期間、新体制で積極的な審議等に努めますのでよろしくお願ひします。

議会議員の任期満了(平成22年4月22日)までの期間、新体制で積極的な審議等に努めますのでよろしくお願ひします。

議会議員の任期満了(平成22年4月22日)までの期間、新体制で積極的な審議等に努めますのでよろしくお願ひします。

議会側案件等

総務常任委員会



坂本委員長



森副委員長

委員長 坂本 光
副委員長 植田 弘
委員 森田 明、平田 暢、厚海 六郎

産業建設常任委員会



深川委員長



松岡副委員長

委員長 深川 美昇
副委員長 松岡 哲雄
委員 近藤 宏、斎藤 勝、田中 吉(後藤 議長)

厚生文教常任委員会



榎原委員長



元木副委員長

委員長 榎原 達也
副委員長 元木 一也
委員 松田 信行、勝田 鉄城、小島 義弘、豊島 秋

議会運営委員会



勝田委員長



田中副委員長

委員長 勝田 光吉
副委員長 田中 勝光
委員 坂本 一、深川 昇、小島 弘、榎原 達也

大空町議会には政務調査費はありません!

政務調査費とは、近年の地方自治の進展により自己決定・自己責任が拡大する中、議会が住民の負託に応え積極的・効果的な議会活動を行うことが求められてきていることなどを背景に、平成12年に地方自治法の一部改正により創設されました。

都道府県や市町村が独自に条例を制定し、『議員が地方行政等に関する諸制度や政治の動向等に対する専門的な知識を得るために行う調査研究に必要な経費の一部として、会派または議員に交付する経費（地方自治法第100条第13項）』とされています。

大空町議会では、この政務調査費に関する条例は制定しておらず、政務調査費は支給していませんので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【議会議員の報酬及び費用弁償条例の一部改正】
6月・12月に支給される議員期末手当の役職加算(15%)を廃止することについて、議員定数等調査特別委員会の厚海委員

長・植田副委員長の連名により議案上程され、平成19年度人事院勧告の凍結分と合わせて議員歳費の一部を削減することに決定しました。

議員定数等調査特別委員会より

委員長 厚海 六郎

副委員長 植田 泰弘

現在、大空町議会議員の定数は「18名」となっていますが、これは、旧女満別町(定数14名)及び旧東藻琴村(定数12名)との合併協議において、当時の両町村定数の合計である26名から、「地方自治法定数の18名とし、選挙区を設定しない」ことで決定され今日に至っているものです。

議員定数等調査特別委員会は、合併後も依然として厳しい本町財政の状況や近隣市町の動向等を踏まえ、議員定数や議員報酬、議会改革など、地方分権時代に相応しい本町議会のあり方を検証・検討するため、後藤議長を除く委員17名により平成19年第4回大空町議会定例会(12月13日)で設置され、次期改選期(平成22年4月)に向けて随時協議・検討、調査等を行っております。

去る4月21日に開催された第6回特別委員会において、6月・12月に支給されている議員期末手当に関し、慎重かつ熱心な審議の結果、町財政の早期健全化に大空町議会としても積極的に取り組むべく次のとおり決定され、5月22日に開会された平成20年第3回大空町議会臨時会で関係条例の一部改正案が可決されましたのでお知らせいたします。

なお、本特別委員会では、議員定数等について引き続き協議・検討、調査を継続して参りますので、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

①大空町議会議員の期末手当の一部削減 ▲2,362,280円(▲3.90%)

②人事院勧告(期末手当0.05ヵ月引上げ)の凍結 ▲203,495円(▲0.34%)

議会・委員会活動レポート

●総務・厚生文教・産業建設の各常任委員会、議会運営委員会や総合計画調査・議員定数等調査・議会広報編集の各特別委員会などは閉会中も開催され、所管する事案に関する案件の協議や活動等を行っています。 ※主な内容をお知らせします。

総務常任委員会

- 〔平成19年度〕
- (1) 第12回委員会(2/26)
 - 町財政健全化計画案
 - 閉会中の所管事務調査に関する協議
 - (2) 第13回委員会(3/17)
 - 交通事故の発生及び和解決況
 - 税の不能欠損
- 〔平成20年度〕
- (3) 第1回委員会(4/14)
 - 町地域防災計画・水防計画
 - 町行政改革推進計画の進捗状況
 - 事務事業の評価
 - 道路特定財源暫定税率の状況
 - 女満別学校給食センター蒸気ボイラー故障の概要及び経過
 - (4) 第2回委員会(5/13)
 - 町税条例の一部改正条例の専決処分
 - 町職員定数条例の一部改正
 - (5) 第3回委員会(5/22)
 - 20年度道内行政視察調査に関する協議

厚生文教常任委員会

- 〔平成19年度〕
- (1) 第14回委員会(2/27)
 - 町学校教育建設基金条例(案)の制定
 - 町医療計画(案)
 - 町東藻琴国民健康保険診療所条例の一部改正
- 〔平成20年度〕
- (2) 第1回委員会(4/14)
 - 女満別学校給食センター蒸気ボイラー故障の概要及び経過
 - (3) 第2回委員会(4/21)
 - 福祉灯油の実績



(女満別ドリーム苑)

- 大空町手数料条例の一部改正条例
 - 19年度学校給食費の決算見込み
 - グートボールセンターで起きた事故顛末
 - 20年度学校パソコン機材導入計画
 - 女満別小学校改築スケジューリング
 - グートボールセンター及び女満別学校給食センター現地視察
- 〔平成20年度〕
- (3) 第3回委員会(5/9)
 - 19年度国民健康保険特別会計予算の専決処分
 - 19年度老人保健特別会計予算の専決処分
 - 町国民健康保険税条例の一部改正条例の専決処分
 - 町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正
 - 町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正
 - 後期高齢者医療制度の状況
 - 巡回バス(東藻琴地区)での事故の状況

産業建設常任委員会

- 〔平成19年度〕
- (1) 第12回委員会(3/11)
 - 閉会中の所管事務調査に関する協議
 - (2) 第13回委員会(3/17)
 - 大空建設業協会との防災協定の締結
 - 交通事故の発生及び和解決況
- 〔平成20年度〕
- (3) 第1回委員会(4/10)
 - 女満別地区の簡易水道事業に係る超過料金金の統一
 - 20年度建設工事・委託業務の発注見直し
 - 誘導看板設置事業

議会中継のお知らせ



「東藻琴総合支所ロビー」及び「老人福祉センターフロックスロビー」のテレビを通じて、議会本会議の様子をご覧になることができますので、議会中継を是非ご覧ください。

議員定数等調査特別委員会

- 〔平成19年度〕
- (4) 第2回委員会(4/21)
 - 町道路専用料徴収条例の一部改正条例
 - 国営かんがい排水事業(美女地区)の実施
- 〔平成20年度〕
- (2) 視察調査(3/27、28)
 - 栗山町議会報告会の傍聴視察
 - (3) 第6回委員会(4/21)
 - 期末手当(役職加算15%)
 - (1) 第5回委員会(3/11)
 - 期末手当(役職加算15%)

● 模 擬 議 会 ●

●平成20年2月16日(土)に開催された「大空町移住者模擬議会」では、6名の模擬議員から13項目の一般質問がありました。各模擬議員の一般質問の内容と町長・教育長の答弁の概要等をお知らせします。

※質問の詳細等は、町議会HPまたは両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

模擬議員の方々の 一般質問の内容等

- 小野塚 仁さん(女満別)
 - ①大空町の人口構成について
 - ②町の公共施設周辺の駐車場の利用状況について
- 神野 里美さん(女満別)
 - ①農村地区におけるインターネット光ケーブルの整備について
 - ②遠方から嫁いできた女性へのサポート体制について
- 廣瀬 太郎さん(女満別)
 - ①教育対策について
 - ②観光政策について
- 田中 伸明さん(東藻瑛)
 - ①スクールバスの多目的利用について
 - ②移住者を増やすために必要なことについて
- 高木 国広さん(東藻瑛)
 - ①地域経済の活性化について
 - ②移住体験事業とサポートについて
 - ③地域医療・介護施設について
- 平岡 映二さん(女満別)
 - ①移住者に対する新規開業などに対する支援策について
 - ②観光・定住対策について

山下町長挨拶



私はまちづくりの出発点・到達点というものは愛情ではないかと考えています。人を愛すること、地域や町を愛することからまちづくりが始まるということも思い、そのことを具体化し、実現していくための柱として「夢・元氣・安心」の3つの項目を掲げながら、将来を担う子供たちや若者たちが夢を描けるようなまちづくり、他の産業や地域資源とを結びつけて働く人たちが元気になるようなまちづくり、町民が安心して暮らせる医療や福祉、生活環境の整ったまちづくりに取り組んでいこうと決意し、町政の運営に携わらせていただいています。この模擬議会は、町民の皆さんのご意見を伺う大変重要な機会です。模擬議員として参加された皆様には今後ともまちづくりに色々な側面から参画くださることをお願い申し上げます。



小野塚 仁
模擬議員

大空町の人口構成について

議員 イベント会場で女満別龍舞隊を見ると、若者たちの強いエネルギーに羨ましさや大いなる希望を感じます。イベントの観衆の多くは高齢者の方々です。多数のボランティアグループが空港周辺や町内の道路、各公共施設の花壇の手入れに参加され大いに貢献しています。皆さんお元気でいることをとても喜ぶものですが、5年、10年先を見ると、将来の大空町を担っていく人たちの人口構成はどのようなになっていくのか興味を持っています。少子高齢化の流れの中、町の将来をどのようにお考えか伺います。

4%であることから、本町は若干数値が高い水準にあります。

本町の出生と死亡を比較すると、平成19年4月から1月末までは出生55人、死亡64人の状況で、今後も減少傾向は続くものと予測をしています。

大空町総合計画では、平成27年の目標人口を8,000人と定め、年齢階層別には次表のとおり予測しています。

年齢階層	人口	比率
0歳~14歳	1,100人	13.7%
15歳~64歳	4,200人	52.5%
65歳以上	2,700人	33.8%

年齢階層	人口	比率
0歳~14歳	1,201人	14.3%
15歳~64歳	4,957人	59.1%
65歳以上	2,234人	26.6%

町長 平成17年国勢調査の大空町の人口は、8,392人で、年齢階層別には次表のとおり4人に一人が65歳以上の高齢者の状況となっています。全道平均21・

守るネットワークの強化など、子供からお年寄りまで皆さんが安心して暮らせる住環境の整備に努力したいと考えています。

公共施設駐車場について

議員 私は、女満別青少年教育文化会館を週1回利用していますが、駐車場の片側半分は公用車が駐車し、利用グループが重なる片側半分だけでは駐車し切れず縦列駐車を余儀なくして他の車両通行に支障を来している現状です。隣接に広い駐車場用地がありますが、高齢者の方々には文化会館前駐車場を優先的に利用いただけるよう配慮をお願いしたいと思います。

町長 道道女満別空港線の改良拡幅工事に伴い、文化会館前にあつた植樹帯を撤去し5台分の駐車場を確保した状況です。ご指摘のように、公用車を駐車している現状は、利用者の皆さんにご不便を掛けていると思えますので、公用車駐車スペースを別に確保し、文化会館前の駐車場を利用者の皆さんに使用いただけるよう早急に取組みたいと考えています。



神野 里美
模擬議員

農村地区の光ケーブルの整備について

議員 私は、東京に住んでいた頃、インターネットのウェブデザイン技術を身に付けました。その結果、大空町へ移住してからもホームページ制作の相談を受けたり、パソコンサークルの講師にお声を掛けていただいたり、自分の経験を生かすことで町民の皆さんとつながりを持ち、お役に立っていることを大変嬉しく思っています。農村地区ではADSL回線のサポート外のため、インターネットの活用を諦めている状況です。地方に住んでいるからこそ、インターネットを上手に使う、ネットショッピングしたり、手軽に検索して調べること毎日の暮らしをより快適に過ごせるのではないかと考えています。皆さんがインターネットの恩恵を受け、情報格差を生み出さないようにするために、光ケーブルの整備の必要が

あると思います。早期実現が困難であれば、町の中心部の空き店舗等を利用して町民向けのインターネットカフェを設置するなど、身近で気軽にブロードバンドに触れられるような場を創設してはどうかと思います。がどのようにお考えか伺います。

町長 ブロードバンド環境の充実には、本町にとっても重要な課題だと思っております。ふれあいトークの席でも、地域の方々から同様の要望が出ていました。国はブロードバンド推進政策を展開していますが、一般家庭へのサービスの提供は、民間の通信事業者が主導的な役割を果たしています。採算性などの面から、都市と地方との格差が益々広がっているように思います。町内でも地域によって情報通信の提供サービスに差が出ている現状です。平成14年11月に女満別地区で、18年11月に東藻琴地区でADSL接続サービスが開始し、19年2月には女満別の市街地区の一部で光ケーブル接続サービスが開始されましたが、技術的な問題等でA

DSLの範囲外となっている地域も残っています。光ケーブルを町内全戸に設置すると16億円程度掛かると試算されました。無線通信の整備方法もありますが、8千万円〜1億円程度必要と試算されました。現在の財政状況では、直ちに整備するのは困難ですが、情報通信分野は、最も科学技術が進歩しており、まだまだ低価格化されていくと思えます。今後の整備等について維持管理を考えながら検討したいと思えます。

ご提案をいただいたインターネットカフェは、町として設置は考えていませんが、公共施設でのインターネット環境を整え、町民の皆さんに利用いただけるよう早急に取り組みたいと考えています。

遠方からの花嫁へのサポート体制について

議員 農家の担い手関連事業として様々な花嫁対策を実施していますが、縁がある結婚が決まった女性や嫁がれた女性に対するサポートが不十分ではないかと感じています。

現在、女満別・東藻琴の

両地区に道外から農家に嫁がれた女性の会があります。生活習慣の違いへの戸惑い、育児の苦労、友人も少なく孤独感を抱えるなど移住してきた女性ならではのストレスや悩みを打ち明け合っています。個々に事情等が異なりますが、町内での生活に慣れるまでの期間、女性職員が相談相手になっていただいたり、先輩移住者を紹介いただいたり、北海道での生活に憧れを持ってきている女性に対し、大空町なら安心して暮らせるようあらゆる面でサポートいただきたいと思えますがどのようにお考えか伺います。

で、職員を通じての相談対応や保健師による子育ての悩みも含めた生活環境全般について、サポート体制を講じることができると思いますが、今後検討していきたいと考えています。行政としてなかなか手の届かない部分もありますが皆さんの不安や課題に取組みたいと考えています。



廣瀬 太郎
模擬議員

教育対策について

議員 ゆとり教育の見直し、教育の格差など教育に対する関心が高まっている中、小中学校の児童・生徒の教育について、町として何に重点を置かれているのか伺います。私は、教育は子供たちに人間力と学力を付けることだと考えていますが、本町の児童・生徒の学力レベルについて、全国学力テストの結果から現状をどのよう把握されているのか伺います。また、東京都杉

並区の和田中学校では進学塾講師による夜スベシヤルを開設するなどの取組みが報道されています。町も具体的に検討することができないかお考えを伺います。

町長 児童・生徒の教育について、まずは教育者の資質向上に重点を置くべきではないかと思っております。町長として、色々な仕組みや制度、環境づくりを担わせていただいている点を今後とも努力したいと考えています。私自身、心の豊かさを培っていく教育、学習力を向上させる教育が必要なのではないかと考えており、愛情を發揮できる、愛情が伝わるような教育活動であってほしいと思っております。本町の学力レベルについて、全国学力テスト結果から、全国的に北海道は学習力が低い位置にあると思えますし、全道的にも管内は特に低いのではないかと受け止めています。学力向上対策として、授業を担当される先生方の資質向上が最も大切なことだと思いますので、教育研修会等の開催など、資質向上を目指した取組みを行っています。各

学校においても読書活動やフームスクールなどの体験的な学習など様々な取り組みを行っており、地域の学力をしっかりと付け、心豊かな子供たちを育成していきたいと考えています。

教育長 東藻琴・女満別両地区において長く培われてきた教育像、歴史、伝統などを基本としながら、大空町学校教育目標を設定しています。児童・生徒像として、学ぶ意欲を持って確かな学力を身に付ける。自分を律して他人と協調して心豊かな子供に育てる。自分や友達、他人がそれぞれ持ち合っている個性を尊重して自分たちが住んでいる郷土を愛する子供たちを育てるの3点を描いています。全国学力テストの結果等を踏まえた本町の子供たちの実態は、小学6年生の国語A、B及び算数A、Bは全道平均。中学3年生の国語Aは全道平均の状況ですが、数学A、Bは若干低い水準にあります。特に国語Bの応用面が5ポイント以上の低い実態にあるという結果が示されました。先生方の指導力、授業力を向上させ

るための様々な手立てを充実していくことが必要だと思えますが、各家庭における学習の充実、予習・復習をきちんとする習慣づけも極めて大事なことになるものと考えています。放課後や長期休業中の補充的学習など、基礎教育の習熟を徹底して取組み、学力の向上対策に努めたいと考えています。和田中学校での夜間学習については、先生の確保や会場の問題の他、民間の塾に通っている児童・生徒もたくさんおられることから、総合的に考えなければならぬと思います。

観光政策について

議員 女満別空港を抱える大空町として、観光への考え方と目指す方向性についてどのようにお考えか伺います。道の駅メルヘンの丘めまんべつは、飛行機の出発時間までの時間調整などで多くの観光客が立ち寄る場所だと思っておりますが、町内を案内する看板や座る場所があまりなく不便ではないかと考えており、観光案内所的なものを設置することについてどのように考えているのか伺います。

旧女満別町時代に町民ワークショップの中で色々な意見をいただき、道の駅の看板の改善やチャレンジショップの展開を実施してきました。また、道の駅で観光案内や情報提供ができる案内所が必要ではないかとの意見もいただきました。大空町総合計画に道の駅の整備項目を計画していますので、何とか実現していきたいと考えています。



田中 伸明
模擬議員

スクールの多目的利用について

議員 合併から2年を迎えようとしています。両地区の交流の場が少なく、合併を実感してなかなか受け止めることができません。まだ日も浅く、これから皆で考える必要のある大きな問題だと思えますが、交流の一つの手段として、スクールバスを活用し、子供たちの交流の機会を増やすことから取組んでみてはどうかと考えています。行事やイベント等の交流だけではなく、日常生活の中での交流、各スポーツ少年団の合同練習やスキー・スケート場の相互利用など、学校の下校時間に合わせて両地区を結び交流バスを運行し、親の手を借りずに子供たちが町内を自由に移動する手段として実現できれば良いのではないかと考えています。実現には様々な課題等もあると思いますが、スクールバスの多目的利用に

ついてどのようにお考えか伺います。

町長 スクールバスは、両地区にそれぞれ5路線運行し、両地区間は1路線の運行です。現在、町内の交通システムをどのように構築していくのか職員による検討会議を設置し、地域交通の現状と問題点の把握とアンケート調査などを踏まえ検討を進めています。20年度については、スクールバスの余剰定員を活用した一般町民の方々の混乗を全路線において実施し、地域の足の確保に努めたいと考えています。両地区市街地を結び路線については、土日・祝祭日を除く期間を除いて新路線としての運行を検討しています。現段階ではJR列車の時刻に合わせて検討を進めており、子供たちの下校時の運行体制になっていません。学校関係者の方々などから状況等を伺い、問題点を検証し、今後の検討を進めたいと考えています。

移住者を増やすために必要なことについて

議員 私は、北海道に憧れ

を抱き、平成14年12月、東藻琴千草に新居を構え定住の決意をしました。家の裏には小川が流れ、ヤマメが群れ、鮭が上り、向かいの山からはヒグマも下りてくる素晴らしい自然環境に囲まれ、何よりも千草地区の方々の分け隔てのないお付き合いに助けられながら日々の生活を送っています。定住から6年目を迎え、子供の成長と共に様々な問題に直面し、将来への不安を感じているのも事実です。移住者は、大空町に住み始めたときから移住者ではなく町民となります。将来への不安や問題は、多くの町民の方々が抱える課題であると思いますが、町民の課題や不安を解決し、住みやすい町であることをアピールすることが移住者を増やす要素になると思います。どのようにお考えか伺います。

町長 将来に対しては、多くの町民の方々が共通に抱えている問題ではないかと思えます。大空町総合計画で、移住者の方々の増やすための様々な項目が位置づけられています。町民の皆さんに対する住み良いま

ちづくりが、移住を考えられている方々への魅力やアピールにつながるかと考えています。子供たちを安心して生み育てられるよう、働く人たちが元気を持てるよう一つ一つ施策を実施して、町民の幸せを考えたまちづくり而努力したいと考えています。



高木 国広
模擬議員

地域経済の活性化について

議員 長沼町のグリーンツーリズムの先進的な取り組みを聞く機会がありました。100人の受入れからスタートして、本年は4,400人の受入れを農家140軒で予定しているとのことでした。津別町のグリーンツーリズム運営協議会なども発達し、道庁担当課の支援の下、本年度からオホーツクの地でも修学旅行生を受入れる準備が進められています。東藻琴でも4年前に神奈川県川和高校の生徒25名

を受入れた経験があります。その後も問い合わせがありますが、100名単位の生徒を預かる受け皿がなお断りしています。女満別空港を持つ大空町は、美しい農村景観や観光立地等からグリーンツーリズムの可能性が高い言われていますが、長沼町などの先進地から学び、広く農家の方々に呼び掛け、新しい取組みに一歩踏み出される農家を作っていくことだと思えますがどうでしょうか。

私は、7年前に旧東藻琴村にUターン移住し、役場農業委員会のお世話になりながら農地1反を手にして農家を始めました。野菜の直売、ネット販売、農家民宿ファームインゆいをおープンして今日に至っています。安全・安心、美味しい食べ物の仲立ちとして、多くのひとの結び付き、広げる喜び、可能性について気付かされていると共に、地域資源を再発見、再認識、地域循環できるセンター的な場が作れないだろうか。そんな夢を持っていますがどのようにお考えか伺います。

町長 近年の旅行需要は、団体型から個人型へと移行している傾向にあります。旅行事業者は1次産業の体験を含めた修学旅行に着目をされているようです。地域産業の中心である農業の新しい政策がスタートしてはいますが、なかなか収益が上がらない現状です。町内では、農家民宿やファームインを経営されている方はまだまだ限られています。農業体験受入れのふれあいファームガイドに15軒の農家が登録されていますが、全体的に農家民宿やグリーンツーリズムに対応した受け皿としては少ない現状にあります。昨年、東京のある高校から修学旅行に100人規模で受入れ可能かどうか調査に来訪されました。農業情勢等を考えるとまだまだ十分な機運の盛り上がりには至っていませんが、農業経営の選択肢の一つとしての農家の方々と情報交換しながら対応を考えたいと思います。道の駅メルヘンの丘めまべつは、平成15年8月に認定を受け、地域の交通・交流の拠点としての役割は勿論、飲食物の提供、物産の販売の他、音楽交流

のイベントなどの開催など複合的な利用に努めています。道の駅のスペースを活用しながら市場的発想で多くの地域の皆さんにご利用いただけるだろうかと考えています。地域の産物、食材、資源などの連関による地域の活性化に結び付けられるような取組みについて、今後努力していきたいと考えています。

議員 これまで多くの方々から、道東に移住したいという相談を伺っています。道東、オホーツクの自然の豊かさ、美しさ、北海道の人柄の良さ、食べ物の美味しさ、豊かさなどたくさん魅力を感じているようです。私自身も移住から7年が経ち、思い掛けない人との出会いの中で生きる幅、可能性が広がってきているように思います。人生の大転換である移住を実現するために必要な土地、空き農家住宅などの情報提供、取得に関する手続きなどのサポートについてどのようにお考えか伺います。

町長 空き家等の有効利用

は、移住だけでなく地域の活性化を図る上でも必要なことだと思えますので、移住してみたいと思われるような空き家等の情報登録制度を20年度から取組みます。町が情報提供の役割を担いますが、農地の取得を希望される場合などは、様々な手続き等が必要で色々な部署が携わっています。相談にいられた方がたらい回しで不愉快な思いをされないよう移住対策を企画課に一本化して窓口を設置しています。体験的な移住住宅も女満別地区に4戸、東藻琴地区に1戸準備をしています。民間業者の方で移住体験住宅施設を整備されていますので、お問い合わせがあれば積極的にご紹介させていただきます。

町長 空き家等の有効利用

地域医療・介護施設について

議員 自分たち世代は、子供に面倒を見てもらえないだろうとある程度覚悟をしています。自分たちでできるだけ粘り強く元気に生きて、最後は介護施設にお世話になりたいと思っていますが、どの程度の将来予測を持って運営計画を立てられているのか伺います。

町長 町では第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定しています。社会福祉法人による特別養護老人ホーム、ショートステイ、民間業者によるグループホームなど、全施設の定員数を合計すると128名となります。町民の方々が他市町村の施設にお世話になっているケースもありませんが、高齢者の方々の状況を分析しながら、今後の体制と計画づくりに十分役立てていきたいと考えています。



平岡 映二
模擬議員

移住者による新規開業などに対する支援策について

議員 私は、平成15年12月にプランジエアンジというパン屋を女満別に開業しました。当時は30歳半ばの年齢ということもあり、資金面など無理をしてのスタートでした。開業資金のほとんどを国民金融公庫からお借りしましたが、開業後

の運転資金の一部がなかなか準備できませんでした。地元の金融機関にも相談に伺いましたが、この地域で一年以上就職して給与収入がないとお貸しできないという返答でした。幸いオーブン初日、吹雪にも拘わらず多くのお客様に足を運んでいただき、何とか運転資金を賄い、今日に至っています。この地域で起業・開業したいと考えている方はたくさんいると思います。町が面接や審査をして若干の手助けをいただけたら、当時の自分としても大変ありがたかったというのが実感です。今後、起業・開業を目指す方々に対し、大空町独自のサポート体制を整えてほしいと思いますが、どのようにお考えか伺います。

町長 新規開業された方々に対する支援策について、現在、中小企業振興資金の融資制度があります。申請窓口は商工会にお願ひしていますが、起業化を考えている方々へ支援できるような従来の1年以上の経営経験の条件を取り外し、設備資金は1千万円まで、運転資金は8百万円までを借入れ

ることが可能です。町は保証料と貸付金利2/3以内を利子補給する内容となっています。PRが不足している部分もあると思いますので、将来検討されている方々へのPRなどに努めたいと考えています。

観光・定住対策について

議員 大空町の冊子を作っていて、エア・ドウの協力いただいて機内で町を紹介することができないだろうかと思ひます。女満別空港・到着ロビーは薄暗いイメージを持っており、以前、東京からの来訪者もどこに着いたのか良く分からなかったと話されていました。町で何か手を加えることができれば、春には芝桜をロビー内に広げる、夏にはヒマワリ、冬には流水を展示するなど、大空町やオホーツクを体感できるような取組みをしてみてはどうかと思ひます。また、なかなか困難だと思ひますが、女満別空港の名称を大空空港に変更してみてもどうかと思ひます。東京で大空町はどこか知っていますかと尋ねた時に、知っている方は限りなく0に近い数字になつてし

まうと思つたのです。これから大空町を売り出していく時に、女満別空港では勿体ないと感じています。どのようにお考えか伺います。

町長 女満別空港の前身は、中央気象台流水観測地として町民の方々の多大な労力により滑走路が完成され、軍の接収により海軍航空隊美幌第二飛行基地として整備が進み、戦後アメリカ軍からの返還を経て、昭和33年に旧女満別町管理の第3種空港として国の認可を受け不定期便が就航しました。昭和36年に北海道へ管轄を移管し、定期便が就航。昭和55年に東京直航便が就航。昭和60年に現在の場所へシエッタ型空港として移転し、平成12年に滑走路が2000mから2500mへ延長され今日に至っています。空港の名称変更は、具体的に北海道と国が協議の上、条例や法律を改正しなければなりません。また、空港にはアルファベット3文字の国際的な略称(空港コード)が付けられています。女満別空港はMMBと表示されます。名称変更の場合、この略称も変更しな

ければなりません。大変多くの時間、労力、経費を費やさなくてはならないのです。女満別の空に飛行機が飛んで73年、民間飛行場として路線開設から52年になります。空港がジェット化され、全国各地からたくさんの方々に利用されるようになつて23年の月日が経つています。北海道のこの地域に来るためには女満別空港といつことで、少しづつ名称も全国に知れ渡るようになってきていていると思ひます。飛行場と共に歩んできた歴史と地元の人たちの熱い思いの中で、地元町長として女満別空港の名称変更は考えていないといつことをご理解いただきたいと思ひます。空港到着ロビーでのアピールについては、女満別空港ビル会社の取締役という立場でもありますので、ご提言いただいた内容の実現に向けて今後提案していきたいと考えています。

質問・答弁の内容は
全て要約しています

編集後記

夢と希望に胸を弾ませ、笑顔で元気に仲良く通学する子供たちの姿があららこちらで見られます。父母の皆さんも我が子の健やかな成長を願って、毎日をお過ごしのことと思ひます。

全国に目を向けると、通り魔殺人などの凶悪事件が繰り返され、本当に物騒な世の中となりました。各家庭は勿論、地域全体が安全・安心に暮らせるよう手を取り合つて協働のまちづくりを進めていかなければならないと感じています。また、市販の洗剤等を使った硫黄水素自殺が若者を中心に後を絶たれませぬ。残された遺族のことを思うと胸が痛みます。そんな中で先日、新潟県村松高校の卒業生代表伊藤のぞみさんの答辞を目にしました。学校ご本人の了承を得て一部を掲載します。

「思い出は巡る私たちの高校生活。歴史の刻まれた校門に迎えられる一日が始まる。「おはよう」「おはよう」授業中に目が合う友達。方程式を追いつめる鉛筆の音。卒業の日が遠く思えた。「何をしたいの」「何を成すべきなのか」不安が胸を塞いだ。たくさん笑って、たくさん泣いて、たくさん泣いた。そして気付いた。孤独や葛藤が自分を創ることを。どんな時も誰かが側にいてくれたことを。他愛のないことが大切でたくさんの優しさに包まれていたことを。喧嘩した翌日も手渡してくれたお弁当。「ごめんね」の代わりに残さず食べる。いつも素直になれなかつたけれど母さんありがとう、私の味方であってくれて。夢ばかり見るなと言った父。本当は私を一番に考えてくれた。最後には「叶えてこそ夢だ」と言ってくれた父さんありがとう、私を信じてくれて。先生の言葉を真つ直ぐに受け止めることができた。その優しさをはねのけることもあった。今なら分かる、先生本当に感謝しています。私たちは毎日を生きていかなければならない。どんなことがあつても。ささやかな日常を積み重ねて生きていくことが自分の人生の支えとなることを知っている。友よ忘れずにいよう。そして今日もいつものように変わらぬ手を振って別れよう。無限の可能性の中を進む今、僅かに光る自信を失つことなく誇り高く生きてゆくことを誓つて」

単立された皆さんの新たなスタートが輝かしい前途であらんことを心からお祈りいたします。

議 会 日 誌

平成20年2月19日～5月24日

〔平成20年〕

- 2月19日 平成20年第2回臨時会
第12回議員協議会
- 21日 第12回議会広報編集特別委員会
- 23日 女満別文化連盟表彰式並びに第27回文連まつり
- 25日 網走支庁管内町村議会議長会第3回定期総会
(上湧別町)
JAオホーツク網走祝賀会(網走市)
- 26日 第12回総務常任委員会
- 27日 第14回厚生文教常任委員会
- 28日 平成20年北網広域圏組合議会定例会(網走市)
- 3月1日 東藻琴高等学校第52回卒業証書授与式
女満別高等学校第54回卒業証書授与式
- 3日 第13回議員協議会
- 5日 第14回議会運営委員会
ことぶき大学卒業式・修了式
- 11日～18日 平成20年第1回定例会
- 11日 第5回議員定数等調査特別委員会
第12回産業建設常任委員会
- 13日～17日 予算審査特別委員会
- 14日 女満別中学校第37回卒業証書授与式
- 17日 第13回総務常任委員会
第13回産業建設常任委員会
第15回議会運営委員会
- 18日 第14回議員協議会
第13回議会広報編集特別委員会
- 19日 女満別小学校第44回卒業証書授与式
- 21日 大空町教育懇話会
女満別建設業協会通常総会
- 24日 豊住小学校第97回卒業証書授与式
- 27日 栗山町議会報告会視察調査(栗山町)
- 4月4日 北網ブロック町議会議事務局長会議(小清水町)
- 7日 東藻琴小学校入学式、女満別小学校入学式
豊住小学校入学式、東藻琴中学校入学式
- 8日 女満別中学校入学式
第58回女満別高等学校入学式
網走支庁管内町村議会議事務局長会議(大空町)
- 9日 第56回東藻琴高等学校入学式
大空町女満別農林協議会第50回定期総会
- 10日 第1回産業建設常任委員会
第1回議会運営委員会
- 11日 女満別町農業協同組合第60回通常総会
- 13日 第2回総務常任委員会
女満別商工会女性部通常総会

- 14日 第1回総務常任委員会
第1回厚生文教常任委員会
- 16日 松木けんこう2008国政の集い(北見市)
- 19日 自由民主党第12選挙区支部政経セミナー(北見市)
札幌大空町東藻琴会(札幌市)
- 21日 第1回議員協議会
第6回議員定数等調査特別委員会
第2回産業建設常任委員会
第2回厚生文教常任委員会
- 23日 ことぶき大学入学式・進級式
- 24日 第36回東藻琴観光協会通常総会
女満別商工会青年部通常総会
- 26日 美幌駐屯地移駐40周年記念式典(美幌町)
- 5月1日 湖水開き安全祈願祭
メーデー大空集会
- 3日 芝桜まつりオープニングセレモニー
- 9日 第3回厚生文教常任委員会
- 13日 第48回東藻琴商工会通常総会
- 15日 北海道町村議会議長会新任局長研修会(札幌市)
- 16日 第1回議会広報編集特別委員会
- 19日 女満別商工会通常総会
網走支庁管内総合開発期成会定期総会(網走市)
第2回議会運営委員会
- 20日～21日 第33回町村議会議長会議長・副議長研修会(東京都)
- 20日 大空町教育懇話会
- 22日 平成20年第3回臨時会(移動議会)
第3回総務常任委員会
第2回議員協議会
- 23日 網走支庁管内町村議会議長会定期総会(訓子府町)
斜網ブロック町議会議長会議(北見市)
- 24日 第2回議会広報編集特別委員会

議会の傍聴はお気軽に!

定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時会は必要に応じて随時開かれますので、皆様もお気軽に傍聴においでください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

6月定例会は6月17日から開かれる予定です。

中華レストラン「吉」

大空町女満別西1条4丁目 TEL(0152)74-4789

コース料理

- 日替りランチ(ドリンク付)…………… 950円
- ディナーセット(食前酒・デザート付)… 1,600円
- ファミリーコース(料理6品)…お1人様 2,500円
(2名様より)
- ミニコース(料理6品)…お1人様 3,000円
(2名様より)

- お弁当 要予約
- オードブル 要予約
(5～6名様用)



*季節により多少内容が変わる事もありますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

営業時間 11:30～13:30/18:00～21:00
定休日 毎週月曜日

ご宴会、ご会合、パーティー等のご予約承ります。

*当店は全て消費税込みの価格です。

